

Blackstone

ESGへの 統合的 アプローチ

2021年11月

目次

04

はじめに

- ESGへの統合的アプローチ
- ブラックストーンのESGへのアプローチ

08

COVID-19

- 社員へのサポート
- ブラックストーンの投資先企業の動員
- テナントと居住者へのサポート
- 世界各地での支援活動

10

ガバナンス

- 業界におけるパートナーシップ
- ブラックストーンの統合ESGチーム
- 取締役会
- 包括的なコンプライアンス
- BAAMのESGイニシアチブ
- プライバシーとサイバーセキュリティ

20

環境

- ポートフォリオ全体でのサステナビリティの推進におけるスケールの活用
- 積極的な脱炭素化への取り組み
- 不動産の排出量の削減
- ブラックストーン本社のエネルギー効率
- ESGにおけるテーマ投資
- クリーンエネルギー・ソリューションへの投資

32

社会

- 「キャリア・パスウェイズ」プログラム
- 退役軍人雇用イニシアチブ
- ブラックストーン慈善財団
- 人材マネジメントポリシー
- 多様性、公平性、包括性
- 研修、能力開発、福利厚生

42

補足資料

- 情報開示
- 巻末注



“

ブラックストーンは、お客様に優れたリターンをもたらすという当社のミッションの中心にESGを据え、当社のスケールと専門性を活用して、投資先企業、資産、事業を展開する地域社会の強化を図っています。

Jon Gray

社長兼最高執行責任者

ESGへの統合的アプローチ

ブラックストーンは、環境・社会・ガバナンス（ESG）の原則を、投資家に長期的な価値をもたらす、レジリエントで優れた企業と資産を築くために不可欠であると考え、ESGを投資プロセスと運営理念に統合することにコミットし、1億人の年金受給者を含む当社の投資家と株主が、この取り組みから利益を受けています¹。

ESGは広範であり、成長過程にある分野ですが、当社は、より優れた企業を作り、投資家の皆様に長期的な価値を創出するために、脱炭素化、多様性、優れたガバナンスを優先事項とすることを決定しました。当社では、率先垂範し、持てる知見を適用してポートフォリオ全体にわたる変化を推進していきます。当社モデルの持つ力は、ポートフォリオ・オペレーションズ・チームとアセットマネジメント・チームによる運営への強力な関与に支えられます。

この2年間、実に多くの人々や企業が前例のない苦難に直面してきましたが、ブラックストーンの社員が、ESGの優先事項の推進を含め、投資家の皆様のために結果を出すことにフォーカスし続けられたことに感謝しています。また、この間、徹底した安全対策を講じたことにより、社員のオフィス勤務が実現できたことにも満足しています。

当社は、ESGイニシアチブを、社内およびポートフォリオ全体にわたり、意識的に加速させてきました。ブラックストーンはこの領域における専門性を著しく高め、責任投資原則（PRI）をはじめとする主要組織の加盟メンバーとなり、業界全体でESGイニシアチブの優先事項を推進するとともに、四半期毎に当社の取締役会にESGでの進捗状況を報告しています。当社では、世界全体で女性社員の割合が41%に、新規採用のアナリストクラスでは、米国において人種的に多様な社員の割合が49%に達しました。また、経済的機会とキャリアの流動性にも重点的に取り組むために、ブラックストーン慈善

財団（Blackstone Charitable Foundation）の寄付戦略をさらに精緻化しました。新型コロナウイルス感染症に伴う支援のために当社のリソースを結集させ、幅広い個人を対象としてスキル構築の機会を提供することを目指しています。こうした成果は、当社の投資先企業だけでなく社内における多様性と経済的機会の促進に対する当社の継続的なコミットメントを表すものです。

また、当社は投資先企業と提携し、いくつかの重要なイニシアチブを推進してきました。当社のサステナビリティ専門チームは、当社がエネルギー消費量を管理する投資に適用される、3年間で合計15%の排出量削減という目標を運用可能にするために尽力しています²。短期間でこうした結果を出すためにブラックストーンのスケールを活用し、企業が測定可能かつ費用対効果の高い脱炭素化を達成し、移行に向けた位置づけを確保するのに役立つプログラムを考案しました。

当社は、社会およびガバナンスの面でも同様に有意義な取り組みを行い、米国および欧州における当社が経営に関与する投資先企業の取締役会の少なくとも3分の1をバックグラウンドの異なる多様なメンバーが務めるという目標を発表しました。これは当社が考え方や経験の多様性によって、より優れた企業が築かれると考えているためです^{3, 4}。そのため当社は、「キャリア・パスウェイズ（Career Pathways）」というパイロットプログラムを実施し、キャリアの流動性を通じてポートフォリオ全体に経済機会をもたらす、一部投資先企業がより大きな人材プールにアクセスできるようにしました。2013年以降、当社の投資先企業で退役軍人、退役軍人の配偶者および介護者を10万人以上雇用するとの目標を達成したことを非常に誇りに思っています。また、投資先企業にも、それぞれの取締役会に対してESGに関する報告を定期的に行うように推奨しました。

1億2,000万ドル以上

2007年以来、ブラックストーン慈善財団が世界中で寄付してきた金額は1億2,000万ドル以上にのぼります⁵

3分の1

米国および欧州において当社が経営に関与する投資先企業の取締役会では、多様な人材が占める割合の目標を3分の1と定めています

41%

2021年の世界中のアナリストクラスにおける女性社員の割合は41%で、2021年採用のアナリストクラスにおいては、米国でマイノリティー人種が占める割合は49%でした

10万人以上

2013年以来、投資先企業で雇用した退役軍人、退役軍人の配偶者および介護者の人数は10万人以上にのぼります⁶

約3分の1

当社リーダーシップ・チームの約3分の1は多様なバックグラウンドを持つメンバーであり、当社の主要ビジネスにおいては、トップ2のリーダーポジションの半数が多様なバックグラウンドを持つ人材で占められています

15%

当社の世界全体の投資において当社がエネルギー消費量を管理できる部分での炭素排出量の削減目標（合計）は15%です

125 MW

当社の不動産ポートフォリオ全体のオンサイトでの太陽光発電の量は125 MWで、それに加えて、2025年までには300 MWの輸送経路が完成の予定です

約44%

Champlain Hudson Power Expressによって、ニューヨーク州、特にニューヨーク市の二酸化炭素排出量が1年間に平均390万トン削減されると考えられており、これはニューヨーク市から乗用車の約44%を排除することに相当します

約100億ドル

2019年以来、広い範囲な意味でエネルギー転換と考える投資に費やした金額は約100億ドルにのぼります



会長兼CEO、共同創業者のSteve Schwarzman
と社長兼最高執行責任者のJon Gray

当社のテーマ別の投資アプローチに従い、エネルギー転換のサポートに注力している企業に投資しています。2019年以来、ブラックストーンは、広い範囲な意味でエネルギー転換と一致すると考える投資に約100億ドルを費やしてきました。例えば、投資先企業であるTransmission Developers Inc. は、ニューヨーク市に1,250 MWの再生可能エネルギーを運ぶことになる、339マイルに及ぶ送電線を建設しています。これによって、ニューヨーク州、特にニューヨーク市での二酸化炭素排出量は、1年間に平均390万トン削減されると考えられています。これは、ニューヨーク市から乗用車の約44%を排除することに相当します。

当社による昨今のプライベート・エクイティ投資全般においても、多様性に富むリーダーをサポートしており、2019年以来、女性のCEOが率いる企業に100億ドル以上を投資し、BumbleのWhitney Wolfe Herd、SpanxのSara Blakely、Hello SunshineのReese Witherspoonをはじめとする多くの起業家と提携しています⁷。さらに、2020年には、ライフサイエンスに160億ドルを投資しました。こうした現在のマクロトレンドへの投資によって、長期的に見てレジリエントな事業を築いていくことが可能であると考えています。

ブラックストーンのグローバルな展開は、ユニークな機会とそれに伴う責任ももたらします。当社は不動産資産を1万物件以上所有し、250社以上の投資先企業全体で50万人以上の社員を雇用しています⁵。さらに、当社は商業不動産の世界最大の所有者でもあります⁸。当社の影響力の広さは、投資家の皆様への価値を創出するために、当社のリソースを細心の注意を払い管理運用することを可能にするだけでなく、それを投資先企業が事業を行う地域社会や環境に与えるインパクトを十分に考慮したうえで行っていく必要性をも意味します。

当社はこの責任を深刻に受け止めており、本書においてESGの優先事項を推進することによって投資家の皆様に価値を届けることについてのビジョンを共有できることを大変嬉しく思っております。当社のアプローチに関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

Stephen A. Schwarzman
会長兼CEO、共同創業者

Jon Gray
社長兼最高執行責任者



2019年、StuyTownは、プライベートの集合住宅の屋根にソーラーパネルを設置する米国最大のプロジェクトを完了しました。1万枚近くのソーラーパネルが設置され、設置時でマンハッタンの太陽光発電容量がほぼ倍増しています。

ブラックストーンのESGへのアプローチ

当社は、ESGを、投資家への長期的な価値を創出するための重要な要素であると考えています。ESGは、当社の経営、投資へのアプローチ、そして当社のポートフォリオに資産を有するパートナーへのアプローチの基盤となるものです。当社では専任のコーポレートESGチームを通じて、緊密に連携したアプローチを取り、ESGポリシーの適用、全社的なイニシアチブの推進、ステークホルダーへの進捗状況の報告を行っています。

本レポートでは、当社のESGプログラムの拡大において成し遂げてきた重要な進展のいくつかを詳しく取り上げるとともに、一層の進展が望まれる他の取り組みについても説明し、当社のビジョン、優先事項、道のりを明確にしたいと考えます。

当社のアプローチは、当社の投資家の皆様のために、細心の注意を払う資産のスチュワードとして果たすべき責任に基づいています。これまで長きにわたり、当社および投資先をよ

り堅実でレジリエントな会社にするためのイニシアチブを数多く実施してきました。サステナビリティやダイバーシティの推進など、その多くは、現在、ESGの主要要素とみなされています。当社の目的とパフォーマンスにESGの要素を織り込めば織り込むほど、投資家、投資先企業、および当社が事業を展開する地域社会により多くの価値をもたらすことができると確信しています。

当社のスケールを活用してポートフォリオ全体での変更を導入する前に、当社のコーポレートレベルにおいてESG原則を適用することで、提唱していることを実践したいと考えています。その点で、以下に概説する当社の2021年の実績が意義深く、これまで以上にプロセス、ポリシー、統合、およびエンゲージメントを重要視する当社の姿勢を反映していると考えます。

コーポレートレベル：

- **統合ESGチーム：**ESGは当社のあらゆる部分に統合されています。コーポレートESG、投資チーム、コーポレート・グループ、アセットマネジメント・チーム、およびポートフォリオ・オペレーションズとの連携を可能にするため、プライベート・エクイティ、不動産、BAAM（Blackstone Alternative Asset Management）、およびクレジットの各事業にはそれぞれのESG責任者が任命されています。ブラックストーンにおけるESG関連のプロフェッショナルの数は、2019年以降、5倍に増えており、2021年だけでも14人のプロフェッショナルを新たに加えています。今後も本領域の専門家をチームに迎え、さらに拡大していく予定です。
- **明確なESGガバナンスの維持：**当社のシニア・リーダーシップと取締役会はESGを強く支援するとともに、ESGに大きく関わっています。取締役会には四半期毎に報告がなされ、それは専属の運営委員会によってサポートされています。当社には、会社全体に適用されるESGポリシーがあり、これは各部門のESGポリシーと連携して機能します。
- **データを活用した進捗状況の測定：**当社は、自ら説明責任を負うために、主要な指標を収集してこれらをモニターしています。ステークホルダーに対して、時間の経過とともにより高い透明性を確保することに重点を置いています。

当社の投資プロセス：

- **総合的なデューデリジェンスの実施：**当社は、投資プロセスにおいて該当するESGファクターを検討することで、重大な投資リスクを特定してこれに対処し、投資への価値を高めることを目指しています。
- **デューデリジェンスから対策への連動：**デューデリジェンスの際にESGファクターをより体系的に特定し、投資サイクルを通じてそれらの要素を介入プランと測定に結び付けるために、各プロセスの評価を行っています。

アセットマネジメントおよびポートフォリオ・オペレーションズ全般：

- **ESGイニシアチブの優先事項：**当社は、該当する場合、当社の投資に明確な期待値を設定することを目指しており、多様性、脱炭素化、優れたガバナンスにフォーカスした、一定数のESGイニシアチブの優先事項を検討するよう強く奨励しています。
- **ESG基準と優先事項の統合：**当社では、学んだことの共有に努め、当社の投資先企業がESGに関するポリシー、プロセス、報告作成を導入する支援をします。投資先企業には、その事業とセクターにとって重要なESGファクターを検討するよう奨励しています。
- **継続的なモニタリング：**当社が過半数株式を所有する、当社ファンド内の投資先企業については、年次のESG調査と四半期毎のデータ収集を実施しています。2021年以降に当社ポートフォリオに組み入れられた会社、および当社の排出量削減プログラムの対象となる会社には、電気・ガス・水道の消費量を追跡することが求められます⁹。当社は、当社が過半数の株式を所有し取締役会で支配権を確保する投資先についてカーボンフットプリントの測定値を年間ベースで出す取り組みを始めました。これにより、当社の進捗状況を評価し、最大の影響をもたらすことのできる機会への取り組みに集中することが可能になります。また、当社のLP投資家が推進するESGデータ・コンバージェンス・プロジェクトにも参加しています。

これまでに当社が成し遂げたことを誇りに思うと同時に、こうした成果をさらに積み重ねていくことを楽しみにしています。ブラックストーンの2021年ESGレポートの先駆けとなるこのアップデートでは、当社のビジョンの概要と、各優先領域でそうしたビジョンを実現するための計画について説明しています。

完全なESGの統合には真のコミットメントと多大な投資が求められます。本アップデートをお読みいただき、誠にありがとうございます。ブラックストーンを代表して、御礼申し上げます。今後もESGの優先事項を推進していくにあたり、引き続き皆様のフィードバックとサポートをいただけますようよろしくお願いいたします。



Christine Anderson

渉外担当グローバル責任者、
ESG責任者代理

新型コロナウイルス 感染症に伴う支援：

リソースの流動化とつながりの維持

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、当社では、「社員をサポートする」、「当社の投資先企業と資産がパンデミックを乗り切れるように支援を行う」、そして「最も支援を必要としているコミュニティを援助する」という、3つの目標を立てました。

当社社員へのサポート

当社の最も貴重な資産は社員です。優れた計画、テクノロジー、および重点的な取り組みによって、当社ではシームレスにリモートワークに移行し、当社の主な焦点を社員の安全とつながりの維持に絞ることができました。最高総務責任者のVik Sawhneyと副ゼネラルカウンセルのTabea Hsiの指揮の下、ブラックストーンのCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）対応チームが、当社でとるアプローチの具体化や社内全体の関連するリーダーのまとめ役として、非常に重要な役割を担いました。

社員は団結してお客様へのサービス継続にあたる一方で、仕事とプライベートな面それぞれでの課題にも対処する必要があったことから、人事部門からは、メンタルヘルスのリソースを提供し、テクノロジー&イノベーション（BXTI）部門は、リモート・コミュ

ニケーションが円滑に行えるようにしました。また、パンデミックの初期には、毎週月曜日にライブで行うZoom会議「BXTV」を開始し、社員がコミュニティとしてつながりを維持できるようにしました。

創業当初から、「団結することでより優れた結果を出せる」ことをよく心得ている当社にとって、対面での協働と研修・訓練に代わるものはないと考えます。社員がオフィス勤務に戻り共に働くことは、当社の文化にとり重要であり、人事部門とグローバル・コーポレート・サービス部門ができる限り安全なオフィス復帰の実現に尽力してくれました。

2020年夏、ニューヨーク本社で希望者によるオフィス再開を慎重に行い、2021年6月にはこの取り組みを本格的に拡大しました。また、当社は、ワクチン接種を受けることができる社員に接種を奨励し、米国勤務の社員の96%が接種を受けました^{7, 10}。2021年6月の時点で、当社は、社員の安全を確保するための数々の対策のために、およそ1,400万ドルを投資しており、これには週2回の新型コロナウイルスの検査の義務付け（任意で週3回）、対面で行う業務にはワクチン接種の義務付け、当社の端末を利用した特殊な接触追跡テクノロジーなどが含まれます¹⁰。さらに、厳格な消毒を実施し、社員の通勤の支援として、個人用防護具（PPE）と交通費の補助も提供しました。



パンデミックを通して、当社社員の心身の健康維持は、最も重要なこととなっています。これには、サイエンスに耳を傾け、それに従い、順応性を持つことが求められます。

Bob Galvin
最高医療責任者



当社は、StuyTown Pantryで募金キャンペーンを開始し、ニューヨーク市の家庭に食事を提供するための支援を行いました。

ブラックストーンの 投資先企業の動員

新型コロナウイルスのパンデミックは、当社のポートフォリオに組み入れられているすべての会社に困難な状況をもたらしました。投資先企業の経営陣が困難な決定に取り組む際に、当社チームは支援的な介入を行い、人事、IT、その他の部門と協力して、他の投資先から学んだことや専門知識を提供して、投資先企業が迅速に対応できるようにしました。

投資先企業の多くは、最前線で地域社会を支援する役割を担ってきた会社です。

ヨーロッパでは、イギリスのライブイベント業界のリーダーで、ブラックストーンのプライベート・エクイティ・ポートフォリオに組み入れられている**NEC Group**が、バーミンガムの展示会場を新型コロナ患者専用の臨時的医療施設に転換する支援をしました。同社は、さらに病床が必要となったときのために、イギリスの国民保健サービスに同社施設を無料で提供しました。

Embassy REIT、Mindspace REIT、Nexus Malls、Nucleus Office Parks、Salarpuria、Panchshilなど、ブラックストーン・インドの不動産ポートフォリオに組み入れられている会社は、インド各地でパンデミックに対応する組織に、合計380万ドルを寄付しています。さらに、これらの会社は、支援を必要とする家庭に370万食以上の食事を、そして医療従事者やエッセンシャルワーカーには10万9千個のマスクを寄付しました。

当社は、**StuyTown Pantry**（現在はCoreGivingの一部）への募金キャンペーンを開始し、ニューヨーク市の家庭に食事を提供するために約25万ドルを集めました。

テナントと居住者への サポート

パンデミックにより発生した最も深刻な社会経済的問題のひとつは、住居確保の不安定さです。失業、病気またはその他の要因から多くの人が経済的な困難に陥り、家賃を払えなくなりました。**2020年4月から2021年9月まで、ブラックストーンの不動産部門は、当社が100%所有する米国の住宅ポートフォリオにおいて、賃料滞納を理由とする強制退去を一切行っていません。**

イギリスでは、英国鉄道の路線高架下でビジネスを行っている中小企業5,000社を管理する**The Arch Company**が、コロナ禍で大きな被害を受けた個人経営事業のために1,000万ポンドの「苦難基金」を設立したことを発表し、苦境に立つテナントが3か月分の賃料を支払わずに済むようにしました。

フィンランドの不動産ポートフォリオの会社である**Sponda**は、レストランと飲食業のテナントすべてに対し、2か月分の賃料を無料にしました。その後、各テナントの状況に基づく無利息の賃料支払期限の延期や柔軟なショッピングセンターの営業時間といった支援目的の対策が実施されました。



ブラックストーンの投資先企業、NEC Groupが提供した
新型コロナ患者専用の臨時医療施設

世界各地での救援活動

ブラックストーンは、パンデミックの間、最も支援が必要とされる場に迅速に支援を提供するための手配を行っています。限界に達していた医療機関をサポートするには、スケールとスピードが不可欠でした。こうした取り組みの一環として、当社はこれまで世界中の新型コロナウイルス感染症に伴う支援に役立てるため、2,000万ドル以上を寄付しています。

ブラックストーン慈善財団は、当社の本拠点となるニューヨーク州で、「ニューヨーク州COVID-19ファーストレスポンス基金」に元手となる1,000万ドルを拠出し、さらに、ニューヨーク市の医療従事者とファーストレスポンスへの食事配給を手配する組織や、弱い立場にある人々に支援を提供する組織に対して、追加で500万ドルを寄付しました。これらの組織には、City Harvest、World Central Kitchen、Slice Out Hunger、Coalition for the Homeless、Union Settlement、Covenant Houseなどが含まれます。

インドでは、ブラックストーンは約500万ドルを寄付して、酸素吸入用具、ワクチンの供給、第一線で働く医療従事者のための個人防護具（PPE）の提供に取り組む非営利組織（CARE India、ユニセフ、American India Foundation）を主に支援しました。

アジアでは、2020年2月にブラックストーン慈善財団が中国を拠点とする組織、One Foundationに95万ドルを寄付して、中国国内での新型コロナウイルス感染症への対応を支援しました。2020年6月、ブラックストーン・シンガポールは、シンガポールにおける新型コロナウイルス感染症に伴う支援として約60万ドルを拠出しました。

ガバナンス：

ブラックストーン、投資先企業、当業界のための、包括的な規制の枠組み

レジリエントな企業の基盤には、必ず強力なガバナンスがあります。オーナーであり運営者である当社は、法令遵守と優れたパフォーマンスを促進する管理体制とプロセスを奨励してそれらを実施することを求めており、この両方を、当社のコーポレートレベル、そして投資先企業で実行します。

当社は事業を展開する各セクターで、強力なガバナンスを実施するよう努めています。当社の投資先企業には、その事業とセクターにとって重要なESGファクターを特定し、それらに取り組むよう奨励しています。

また、当社自身の業務を管理する強力な監視とコンプライアンスの手順も採用しています。より良い情報に基づいた投資の意思決定と資産の所有方法のため、当社は、投資プロセスにおける当社の取り組みを強化し、プロセスのモニターに努めています。これは、特定の投資に合わせて、ESGファクターとリスク管理を当社の投資プロセスに統合することを意味します。



こうした企業風土と文化は、ブラックストーンとその投資先企業が、誠実さ、信頼、透明性を最も重要な価値観として掲げ、自信を持って業務を遂行するための基盤となります。

John Finley
最高法務責任者



最高法務責任者 John Finley とミーティングを行う、コンプライアンス担当グローバル責任者 Marshall Sprung およびプライベート・エクイティ部門ゼネラルカウンセル Natasha Gopaul。

当社は、報告と透明性に対する投資家の皆様のニーズに応えていることを誇りとしており、今後もこの点について投資家の皆様とともに取り組んでいく所存です。ポートフォリオのESG情報については、適切かつ、可能な場合、報告書、会議、電話・ビデオ会議を通じて投資家の皆様と共有しています。また、当社は責任投資についての対話を進めるべく、ステークホルダーと関わることのできる機会を追求しています。これはブラックストーンが業界のリーダーとなるべく特に力を注ぐ点です。

業界エキスパートとのパートナーシップ

当社は、業界全体でESGを推進することを目指しており、以下の組織とのパートナーシップを喜ばしく思っています。



責任投資原則 (PRI)

ブラックストーンは、2021年8月にPRIに署名しました。当社では、PRIへの報告とともにESGの統合における他の署名者と交流を期待しています。



気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)

ブラックストーンは、より明確な気候関連リスクの情報開示を通じて、よりレジリエントな金融システムを構築するためにTCFDに加入しました。ブラックストーンは、2022年のTCFDの推奨事項に沿って報告を行う予定です。



Ceres Investor Network

ブラックストーンは、サステナビリティのプロフェッショナル、その他の主要アセットオーナーおよび投資マネージャーと協力し、ネットゼロに向けたフレームワークを含む、プライベート・エクイティの気候関連の枠組みを策定するためにCeresに加盟しました。



持続可能な市場のためのイニシアティブ (SMI)

ブラックストーンは、プライベート・エクイティSMIタスクフォースに参加し、持続可能な未来への移行を推進する役割を担っています。



ロッキーマウンテン研究所 (RMI)

ブラックストーンはRMIと提携し、当社独自のアセットクラス・レベルでの気候関連の枠組みを策定しています。



自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD)

ブラックストーンは、TNFDフォーラムに参加し、自然関連の情報開示の基準設定への貢献、自然関連リスクの報告と実行の奨励を行っています。



アメリカ再生可能エネルギー評議会 (American Council on Renewable Energy, ACORE)

ブラックストーンは、再生可能エネルギーの普及をサポートし、当社の再生可能エネルギーへの投資活動について周知してもらうためにACOREに加盟しました。

ご挨拶



二酸化炭素排出量を削減するためにより早急な対策が必要との警告が、これまでになく深刻なものとなっているなか、投資家には大きな責任と機会があります。ブラックストーンでは、より強く優れた企業となるために脱炭素化を目指す投資先企業とパートナーシップを結んでいることを誇りとしています。低炭素の未来をサポートすることによって、当社は投資における価値を創出しています。そして、他の投資家にとっても何が可能であるかを知るきっかけになると期待しています。

Elizabeth Lewis

ESG副責任者

Lewisは、ブラックストーンのコーポレートESGの取り組みをサポートしています。ブラックストーンに入社する前は、世界銀行グループの民間セクター機関である国際金融公社 (IFC) で、気候変動に関するパブリック・エンゲージメントチームを率い、それ以前は、世界資源研究所 (World Resources Institute) の持続可能な投資プログラムを設立し、またクリーンエネルギーと持続可能な林業に焦点を当てたプライベート・エクイティ・ファンドのGlobal Environment Fundのプリンシパルを務めていました。Lewisは、ザ・ネイチャー・コンサーバンシー (The Nature Conservancy) のメリーランド州/ワシントンD.C.支部の理事も務めています。

ブラックストーンの統合ESGチーム

ESGについてはシニアマネジメントが監督し、四半期毎にブラックストーン取締役会に報告しています。これらのチームは、グローバルESG運営委員会、そしてアジアESG運営委員会と欧州ESG運営委員会による地域委員会を含む、専任の運営委員会とワーキンググループによってサポートされています。また、気候ワーキンググループ、データ・ワーキンググループ、法務&コンプライアンス・ワーキンググループも含まれます。

プライベート・エクイティ、不動産、BAAM、クレジットの各部門のESG責任者は、当社の投資、アセットマネジメント、およびポートフォリオ・オペレーションズのチームと調整を行うことができます。これらの部門のESG責任者は、コーポレートESGチームと当社のポートフォリオ・オペレーションズの各チームの助言を仰ぎ、提供される同分野に関する深い専門知識を活用します。そして、ポートフォリオ・オペレーションズ・チームとアセットマネジメント・チームは、ESGイニシアチブの実行の責任を負います。

当社では、全社的に、ESGに特化した研修を実施しています。この1年間では、以下のような研修を行ってきました。

- 投資先企業CEO向けのESG関連取締役会報告に関する研修
- BAAM投資チーム向けのESGに特化した戦略に関する研修
- BAAM投資プロフェッショナル向けの気候変動に関連する投資分析研修



定期的な取締役会への報告を通じた進展

ブラックストーンは、投資先企業の経営陣等に対して、未実施の場合には、ESGに関する取締役会報告を定期的に行うように求めるイニシアチブを新たに発表しました。このイニシアチブでは、投資先企業が独自のESG行動を評価し、ビジネスに関連するKPIを特定し追跡すること、さらに、ブラックストーンが特定したESG関連の優先イニシアチブに注力することが奨励されています。ブラックストーンは、当社の不動産ビジネスが確立した項目に基づいてイニシアチブを構築しており、これは、当社ビジネスの一部における効果的な慣行をどのように発展させ、ポートフォリオ全体に拡大していけるかを示す好例です。

ブラックストーンのESG関連人材

足もと数年間で、ESG分野への深い知識を持つ専門家を集結できたことは当社の誇りです。

ESGチームの
2021年新規
メンバー

コーポレートESG

慈善財団



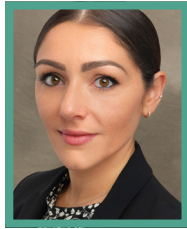
Christine Anderson

渉外担当
グローバル責任者、
ESG責任者代理



Elizabeth Lewis

ESG副責任者



Elena Iannaccone

ESGチーム・
バイスプレジデント



Megan Nixon

ESGチーム・
ディレクター



Lindsay Gibson

ESGチーム・
アソシエート

他2名



Amy Stursberg

ブラックストーン慈善財団
エグゼクティブ・ディレクター

プライベート・エクイティ&ポートフォリオ・オペレーションズ



Courtney della Cava

グローバルヘッド、
ポートフォリオ・タレント
& リーダーシップ



Amisha Parekh

プライベート・
エクイティ部門
ESG責任者



James Mandel

最高サステナビリティ
責任者



Elena Mariotti

ポートフォリオ・
オペレーションズ部門
マネージング・ディレクター



Marcus Felder

キャリア・パスウェイズ
代表

他1名

不動産

BAAM / BXC



Eric Duchon

不動産部門
ESG責任者



Caroline Hill

ヨーロッパ不動産部門
ESG責任者



Nina James

アジア不動産部門
ESG責任者



Carolyn Torsiello

不動産部門ESGチーム・
バイスプレジデント

他3名



Rita Mangalick

BAAMおよび
クレジット部門
ESG責任者



Jamie Chesner

BAAMプリンシパル

BAAM
より
他2名

法務&コンプライアンス

グローバル・ コーポレート・サービス

人事



John Finley

最高法務責任者



Marshall Sprung

コンプライアンス担当
グローバル責任者



Tabea Hsi

副ゼネラルカウンセル



Grace Nicosia

コーポレート・サービス
部門グローバル責任者



Paige Ross

人事部門グローバル
責任者



Devin Glenn

多様性、公平性、
包括性担当
グローバル責任者

取締役会

当社は、取締役会が効果的にその監督責任を果たせるように、メンバー全体の経験、資格、スキルを考慮した取締役会の役員構成を心掛けています。取締役会は、取締役会とその各委員会が効果的に機能しているかを確認し、また、改善余地を特定するために、年次評価を行っています。

当社は多様性が効果的なガバナンスの重要な要素であることを認識しており、ブラックストーンの取締役会の30%以上は多様なバックグラウンドを持つメンバーで構成されています。

ブラックストーンの取締役会を強化するメンバー

ブラックストーンは、2020年に新しく、Alphabet, Inc. およびその子会社Google, Inc. の最高財務責任者であるRuth Porat氏と、Kirkland & Ellis法律事務所のパートナーであるReginald 'Reg' Brown氏を取締役に迎えました。



Ruth Porat

Alphabet, Inc. およびGoogle, Inc. 最高財務責任者

Ruth Porat氏は、2015年5月にシニア・バイスプレジデント兼最高財務責任者としてGoogle社に入社しました。同年10月に創設されたAlphabet社でも、創設以来最高財務責任者を務めています。Porat氏は、財務、ビジネス・オペレーションズ、不動産およびワークプレイス・サービスを担当しています。Google社に入社する以前は、Morgan Stanley社のエグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高財務責任者を務め、同社においてインベストメント・バンキング部門副会長、テクノロジー・インベストメント・バンキング部門共同責任者、金融機関グループのグローバル責任者などを歴任しました。



Reg Brown

Kirkland & Ellis法律事務所 パートナー

Reg J. Brown氏は、Kirkland & Ellis法律事務所のワシントンDCオフィスのパートナーです。Brown氏は、複雑で重要な規制、法令施行、風評リスクの問題に直面している金融機関とその他企業の顧問を務めています。Kirkland & Ellis法律事務所のパートナーとなる以前は、WilmerHale法律事務所のパートナーとして金融機関グループの会長を務め、危機管理および戦略的対応グループの副委員長として、同法律事務所の連邦議会調査業務を指揮しました。2003年から2005年には、ホワイトハウス次席法律顧問および大統領特別補佐官を務め、またNationwide Mutual Insurance Companyの企業戦略部門でCEOとバイスプレジデントの補佐も務めました。

当社の主な受賞歴



最近の受賞と表彰：

- ・ **ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団の2021年企業平等指数で100%の評価を獲得**
- ・ **5年連続で「働きがいのある会社」に認定を受けました。これには、2021年の「ニューヨークで最高の職場」、「金融・保険業界で最高の職場」、「ミレニアル世代にとって最高の職場」への掲載が含まれます。**
- ・ **2021年の「イギリスで最も働きがいのある会社トップ100社」にランキング入りしたほか、「ロンドンで最も働きがいのある会社トップ75社」にも選ばれました。**

::: Bumble

女性のエンパワーメントと企業の成長を推進

足もと10年間で最も注目を浴びたスタートアップのひとつであるBumble社の創業者・CEOのWhitney Wolfe Herd氏は、同社への投資に関心を示す企業に事欠きませんでした。2021年2月のBumble社のIPOによって、Whitneyは米国女性起業家として最年少で会社を上場させました。女性のエンパワーメントという同氏の使命を象徴するかのよう、同社の取締役会の70%を女性が占めています。



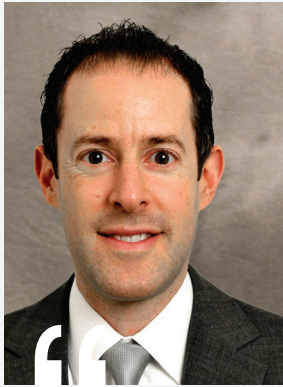
米国女性として史上最年少でIPO達成

ブラックストーンがBumble社を買収したとき、当社はWhitneyが会社のビジョンを実現する支援をするために、Whitneyとパートナーシップを結びました。そして、女性による女性のためのプラットフォームを作成するという、Whitneyの目標を反映するシニアリーダーシップチームを形成するための支援を行いました。最高責任者レベルの女性執行役員を数名雇用し、有能なテクノロジーおよびメディア・エグゼクティブをリクルートし、女性が過半数を占める取締役会に加わってもらったほか、MagicLabからBumbleへの再ブランド化を支援し、これによって一つの認識しやすいブランド名の下で複数のプラットフォームの統合も行いました。Bumbleという名称は、マッチングアプリ業界における女性のエンパワーメントと同義語として使われています。

70%

Bumble社の取締役会において女性が占める割合





当社のコンプライアンスの枠組みは包括的であり、当社が世界的に展開する中でも、事業および規制の複雑な環境に対応するように策定されています。ブラックストーンは、高い法的・倫理的基準をもってビジネスを行うことにコミットしており、すべての社員にこのコミットメントに倣うことが求められます。

Marshall Sprung

コンプライアンス担当グローバル責任者

Mangalickは、BAAMおよびブラックストーン・クレジットのESG責任者です。両部門と連携してESGへの取り組み、報告、エンゲージメントに関連するさまざまなイニシアチブを指揮しています。この役職に就く以前は、BAAMの顧問ビジネスに注力しつつ、BAAMのESGプログラムの開発で中心的な役割を果たしました。過去には、ビジネス・財務評価チームのメンバーとして、BAAMのヘッジファンド・マネージャーの運用面のデューデリジェンスを担当していました。



Rita Mangalick

BAAMおよびクレジット部門ESG責任者

点検と研修によって強化された包括的なコンプライアンス・プログラム

取締役会は、ブラックストーンのポリシーとコンプライアンス制度を見直し、そしてそれらがブラックストーン、取締役、執行役員が合法的かつ倫理的に責任を持って行動するという目標に一致していることを確認する責任を負っています。ブラックストーンのコンプライアンスの枠組みと目指す姿は、企業倫理・行動規範を含む「ブラックストーンのコンプライアンス・ポリシーと手順」に記載されています。

加えて、社員は入社時にコンプライアンス研修を終了するか、研修プログラムに登録することになっています。さらに、当社では世界中の社員に対して、少なくとも年に一度、定例研修を実施しています。また、ブラックストーンは、第三者企業の支援の下、年に一度、内部倫理基準を見直しています。"

ポリシーと研修	
倫理規定と研修	✓
贈収賄および腐敗行為防止に関するポリシーと研修	✓
マネーロンダリング防止に関するポリシーと研修	✓
内部告発者の保護および研修*	✓
ハラスメント防止に関するポリシーと研修	✓
報復禁止に関するポリシーと研修	✓

*ブラックストーンは、内部告発者が利用できる通報手段を複数用意しています（これには、Navex Global社のEthicsPointによって管理される、24時間体制の無料通話ホットラインや専用ウェブサイトが含まれます）。

BAAMでのESGへの取り組み

BAAMのESGポリシー・エンゲージメント・イニシアチブ

BAAMでは膨大な数の投資マネージャーを通して投資を行っており、ブラックストーンのみならず、業界全体に言えるのはBAAMにはESG統合に向けた相応のインパクトをもたらす機会があるということです。BAAMのESGチームは、マネージャーに対して、ベストプラクティスの共有、リソースの提供、研修などの働きかけを行い、また、投資戦略上適切な場合はESGポリシーを採用するよう奨励しています。BAAMでは、2019年末以降、ポートフォリオに採用中のマネージャーによるESG施策が100%以上増加しています。

BAAMのESGモニタリングおよび報告イニシアチブ

BAAMは投資開始前および採用中に、マネージャーのデューデリジェンスを行う際に、ESG関連事項も精査します。マネージャーを対象に年に一度ESG調査を実施し、投資プロセスとビジネス運営上、どのようにESGを統合しているかについて尋ね、データの集計後、投資家の方々に報告を共有し、また、依頼があればポートフォリオに含まれるマネージャーのESG関連の進捗状況について概要を提供しています。

コーポレート・プライバシーとデータ保護

ブラックストーンは個人情報およびデータ保護にコミットしています。このテーマは、少なくとも年に一度実施される社員向け定期研修に含まれています。データの機密性に関しては、通常、グローバルCCOによる取締役会への年次報告で取り上げられます。ブラックストーンのデータ保護への取組方針については、「オンライン・プライバシー通知」および「投資家データプライバシー通知」に記載されています。

また、プライバシー保護業務担当者が、ブラックストーンのグローバル・プライバシー・コンプライアンス運営委員会であるデータ保護業務委員会（DPOC）をサポートしています。

サイバーセキュリティの保守

ブラックストーンは、専任のサイバーセキュリティ・チームを構築し、社内システムや業務、投資家・社員・投資先企業・ビジネスパートナーから託されたデータを保護するための包括的なサイバーセキュリティ・プログラムを整備しています。ブラックストーンのサイバーセキュリティ・プログラムは、最高情報セキュリティ責任者（CISO）のAdam Fletcherが執行役員および取締役会と密に連携し、当社のサイバーセキュリティ戦略の策定および推進にあたっています。

当社では、サイバーセキュリティは団結して取り組むべきものと考えており、社員一人ひとりが当社と当社のデータ保護に尽力する責任を負っています。当社では、攻撃者が侵入する前に脆弱性を特定するために、自動化ツールとホワイト（ハット）ハッカーを使用して少なくとも年に一度定期点検を実施しています。当社のプログラムは、2~3年毎に一度のペースで第三者によって、アメリカ国立標準技術研究所（NIST）やCenter for Internet Security（CIS）などの、業界標準や既に確立されているフレームワークに照らし合わせて評価と検証を受けます。

当社は、異常事態が発生した時に、当社のリーダーシップ、および当社の顧問弁護士やインシデント対応パートナーなどの第三者の専門家に適時適切な報告がなされるようにするために、事業継続計画に沿った包括的なセキュリティインシデント対応計画を策定しています。これらの計画は、サイバーインシデント発生時に下すべきタイプの判断を検討するため、少なくとも年に一度サイバーインシデント机上演習を通じて、検証されます。これまでに、サイバーインシデントのシナリオ演習も行っています。

セキュリティ意識向上プログラムは全社レベルで行われています。全社員が、入社時に研修を終えるか、研修に登録します。当社では世界中の社員に、少なくとも年に一度、再研修を提供しています。



ブラックストーンのテクノロジー&イノベーションのメンバーは、全部門と密接に協力して、当社のサイバーセキュリティとデータ保護を強化しています。

Dera Nevin

データ・ポリシー & 戦略責任者のDera Nevinは、ブラックストーンにおけるプライバシー、データ保護、情報リスク管理の取り組みを監督しています。Nevinは、プライバシーおよびデータ保護業務を主導し、この業務において、プライバシーへの影響を評価し、プライバシー保護策を導入し、通知、許諾、オプトイン・オプトアウト、およびデータ別のアクセス権の管理などにおいて、グローバル・プライバシー・プログラムと現地のプライバシー法の要件との調整を行っています。



Adam Fletcher

Adam Fletcherは、ブラックストーン全体でのサイバーセキュリティに関するあらゆる管理に責任を負い、また創業間もない有力サイバーセキュリティ企業への小規模投資の管理サポートも行っています。



当社ポートフォリオ全体にわたるサイバーセキュリティの評価と助言

当社は、当社の投資プロフェッショナルと投資先企業の経営陣に提供する、ポートフォリオ・サイバーセキュリティ・プログラムを導入しました。

ポートフォリオ・サイバーセキュリティ・プログラムの目標は、(1) ポートフォリオ全体のサイバーインシデントの頻度と影響を減らすこと、(2) 投資プロフェッショナルが投資プロセス全体におけるサイバー・リスクを検討できるようにすることです。このプログラムには、ブラックストーンが支配的持分を有する企業、およびブラックストーンが少数持分の株式投資またはデット投資を行っている、またはその他の関係の企業が含まれます。

当社には、75名以上のCISOが参加するポートフォリオ・セキュリティ・コミュニティがあり、毎月会議を行って最新の脅威を検討するほか、ブラックストーンが年次で主催するプライベート・カンファレンスにおいても討議を重ねています。

このプログラムには、次の3つの機能があります。



評価と改善

経済的損失をもたらす最も一般的な攻撃に対する、当社のセキュリティ体制を改善するための反復可能なプロセスです。ブラックストーンのポートフォリオ・サイバーセキュリティ・プログラムでは、年に一度評価を実行し、その結果判明した問題を毎月追跡し投資先企業とともに完全な処理を行います。



デューデリジェンス

投資候補先におけるサイバー・リスクを発見し、100日計画を策定するためのサービスです。



アドバイザー

ブラックストーンの投資先企業でのCISOの雇用、戦略と予算の検証、サイバーインシデントに関する助言、ベンダーとのパートナーシップに関する推奨や価格交渉を行います。



Adam Mattina

情報セキュリティ副責任者のAdam Mattinaは、ブラックストーンの投資先企業と共同で、それらの会社のサイバーセキュリティ・プログラムに取り組んでいます。



“

社員は、社会的な責任や環境上の責任を果たす、目的重視の会社で働きたいと考えており、取締役会のメンバーやCEOたちは、社会的問題の重要性やそれぞれの会社の中核事業においてESGを重視することの必要性を認識し始めています。

Bruce Simpson

シニア・アドバイザー（マッキンゼー・アンド・カンパニー元シニア・パートナー）¹²



ブラックストーンのチームメンバー、
601 Lexington Avenueのオフィスにて

環境：

低炭素の未来のための長期的持続力

気候変動による物理的リスク、そして行動を求める投資家からの要求の拡大や規制変更が、脱炭素化の必要性を高めています。

低炭素の世界への世界的な移行には、コミットメントだけでなく、何兆ドルもの投資が求められます。ブラックストーンは、投資家のための価値の創造を追求するなかで、エネルギー転換をサポートする企業への投資にますます焦点を合わせています。

当社は、パリ協定の目標を支持し、さらなる気候関連の情報開示を支持していくつかの取り組みを行ってきました。当社は、責任投資原則（PRI）に署名しており、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の賛同企業です。また、当社の排出量削減プログラムの一環として、投資先企業全体の排出量

の削減状況を測定し、削減目標を立てることにコミットしており、2022年にTCFDの推奨事項に沿って報告を行う予定です。

当社は、気候変動は企業と資産の長期的な持続力や成長力に影響する重大な問題であると考えています。そのため、物理的な気候変動リスクの評価を、特定のデューデリジェンスや資産管理活動に組み入れる予定です。さらに、投資先企業の低炭素への移行を積極的に支援していきます。

また、最高サステナビリティ責任者の主導の下、およそ10年間にわたり、当社の一部の投資先企業や投資先資産の脱炭素化を支援し、低排出技術に投資してきました。その過程で、製造業からホテル、ラストワンマイルの物流に至るまで、世界経済のさまざまなセクターの異なる資産において排出量を削減しようとする際に、何が機能し、何が機能しないかを学んできました。

当社は、排出量の削減が、コストの削減とその他の成長優先事項への投資強化、効率性の向上につながるというシンプルな前提に基づいて取り組みを開始しました。気候変動に関する市民や政策立案者の懸念が高まっていることから、この取り組みが、ブラックストーンの投資先企業や投資先資産をより一層の強化につながったと考えています。

2021年1月、当社は排出量削減プログラムの発足を発表し、当社がエネルギー消費量を管理できる新しい取得資産におけるスコープ1とスコープ2の炭素排出量を、その所有開始から最初の3年間で合計15%削減するという新たな目標を設定しました。この目標を達成するために、測定可能かつ具体的な方法でエネルギー消費量と炭素排出量を大規模に削減できるよう、強力な脱炭素プログラムを策定しました。



2021年3月にブラックストーンが買収したDESOTECの約2,700台の移動式フィルターは、ヨーロッパ最多規模を誇ります。

ご挨拶

James Mandel

最高サステナビリティ責任者



Mandelは、当社の投資先企業全体にわたり、長期的価値を向上するためのサステナビリティと気候関連のイニシアチブを主導しています。

2021年のブラックストーン入社前は、ロッキーマウンテン研究所でカーボンフリー・ビルディング・プログラムのマネージング・ディレクターを務め、米国、中国、インドを中心に建物の排出量削減にフォーカスする、研究、コンサルティング、および政策関連業務を指揮していました。ロッキーマウンテン研究所勤務以前は、マッキンゼー・アンド・カンパニーで、エネルギーと産業分野の企業におけるサステナビリティとオペレーションの効率化に注力しました。

持続可能なイニシアチブのレガシー

Don Anderson

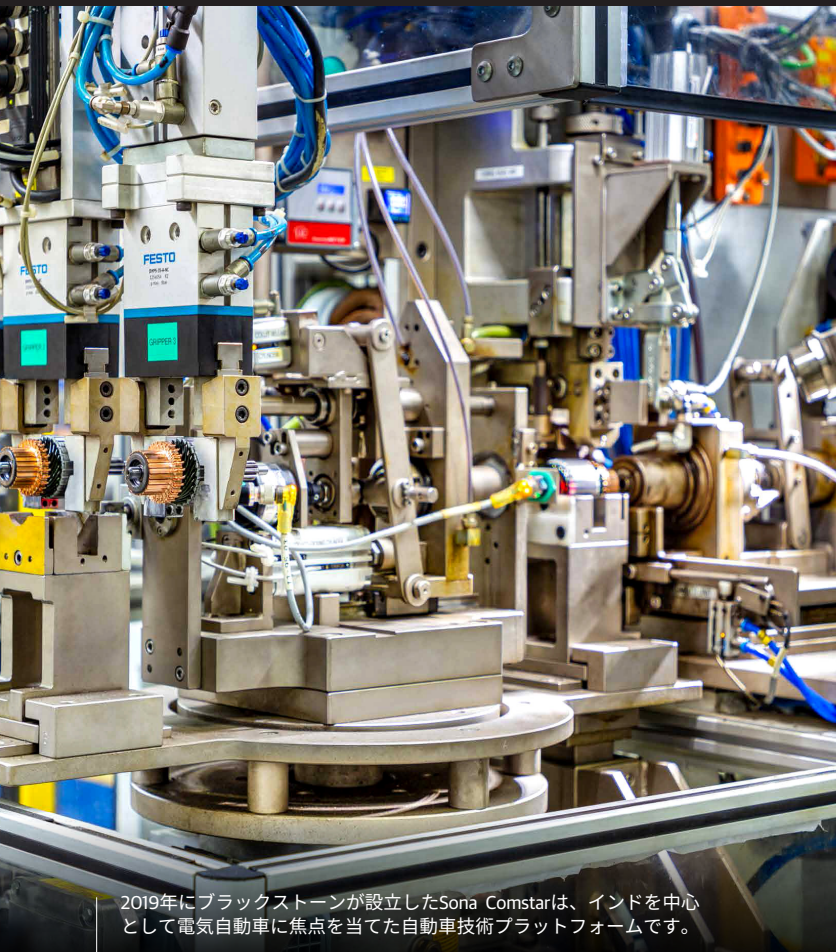
前最高サステナビリティ責任者



今年、最高サステナビリティ責任者を十年間務めてきたDon Andersonがリタイアします。彼は、今後もブラックストーンのシニア・アドバイザーとして貢献してくれます。当社のポートフォリオ全体にわたり、発展し続けるサステナビリティのイニシアチブでの彼の功績に大変感謝しています。¹²

現在、スコープ1とスコープ2の排出削減量を追跡および報告する炭素会計システムや機能を開発しています。これによって、当社がもたらすインパクトを測定し、投資家の各自の気候関連の目標や財務目標の達成に必要なデータを提供することができるようになります。

当社の投資先企業と資産は、気候変動に対して強靱で低炭素の未来を創造する上で重要な役割を担います。当社が投資中に取った行動が、当社の投資終了後であっても、価値と永続的なインパクトをもたらすものと考えています。そして、投資先企業が当社の投資終了後も、それが価値を向上するというシンプルな理由から、脱炭素プログラムを継続すると信じています。



2019年にブラックストーンが設立したSona Comstarは、インドを中心として電気自動車に焦点を当てた自動車技術プラットフォームです。

ポートフォリオ全体でのサステナビリティの推進におけるスケールの活用

この10年間、当社は、有意義なサステナビリティ・プログラムを構築するために、当社のスケールと投資先企業のインサイトを利用してきました。このプログラムは不動産およびプライベート・エクイティ部門内で開始され、当社が投資先企業やホスピタリティ資産のパートナーと提携し始める場合に、バスルームの設備を構築し直す、LED照明に切り替える、空調システムを改善するなど、パフォーマンスを改善するための迅速で低コストのアプローチが導入されました。

当社のスケールが、ポートフォリオの炭素排出量を削減させることで価値を創出することを可能としています。当社では、目標を達成するために、ハンズオンの支援を提供することができます。

ブラックストーンのカーボンフットプリントの評価

当社は、インテグレーション、エンゲージメント、報告を通じて、気候変動対応を引き続き支持し、強化していきます。現在、2022年の導入を目指し、当社が過半数の持分を有し、取締役会を主導する投資のためのカーボンフットプリント・プロセスを設計しています。ブラックストーンとそのポートフォリオのための炭素会計システムは、当社が投資する会社と資産がカーボンフットプリントの準備を行い、その情報をブラックストーンと共有するためのガイダンスとサポートを提供する予定です。

ブラックストーンでは当社とそのポートフォリオがもたらす温室効果ガス排出量を把握し、時間の経過に伴う変化を、絶対量と強度に基づいて追跡し、ブラックストーンとその投資先に優先度の高いコスト削減または価値創出の機会を特定し、定期的に排出量を測定する技術を投資先の企業および資産で開発することを目指しています。

ご挨拶

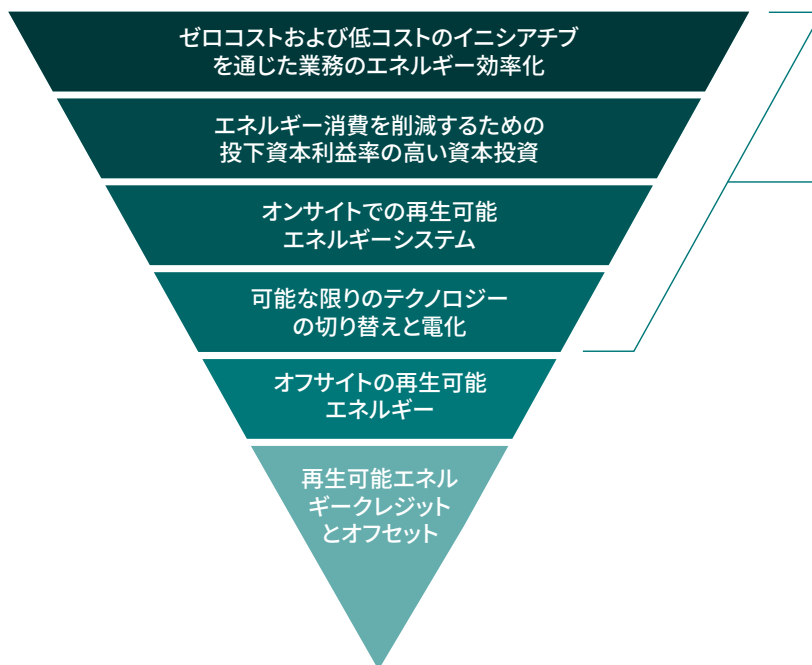


Amisha Parekh

プライベート・エクイティ部門ESG責任者

Parekhは、ESGデューデリジェンス、ESGポリシーと戦略の策定、プライベート・エクイティ部門のESG報告を指揮しています。ブラックストーン入社前はブルームバーグLPに4年半勤務し、直近では、ブルームバーグのサステナビリティ・ファイナンス・ソリューションのプロダクト・マネージャーとして、ESGデータの買収やキュレーションに取り組んでいました。

排出量削減戦略



ブラックストーン
排出量削減プログラムの現在のフォーカス

ブラックストーンの積極的な脱炭素化への取り組み

当社は、排出量削減プログラムの一環として投資先企業が脱炭素化プログラムを実行するためのプラットフォームも構築しました。このプラットフォームには、ブラックストーンの投資先企業で、業務支援の設計および遂行を専門とするコンサルタントとエンジニアから成る、RE TechとThermaが含まれています。

当社は、投資のライフサイクルを通じて排出量が考慮されるように設計されたアプローチを採用することにより、炭素排出量の削減を目指す投資先企業を当プログラムでサポートします。こうした取り組みには、当社の炭素排出量目標の達成可能性とコストを把握するためのデューデリジェンスが含まれます。買収後には、目標達成のため、投資先企業に対してギャップ分析とロードマップ作成が行われます。

当社はエネルギー消費量と支出を追跡しており、ポートフォリオから選ばれた一部の会社について関連する排出量データを追跡する予定です。参加する投資先企業の光熱費を追跡し、データの質と透明性を徹底させます。当社は各社と協力して基準年を設定し、時間の経過に伴うパフォーマンスを監視します。

チームの人数を増やし、リソースを拡大して、既存のポートフォリオも含めてより広範囲に排出量を長期的に削減するなど、価値を創出するサステナビリティ実践の推進に取り組んでいきます。

主な排出量削減プログラム：

Shya Hsin

ブラックストーンと、アジアを拠点とするパッケージ会社、Shya Hsinは、5年間で25%以上エネルギーを節約するという目標を掲げました。

エネルギー効率の改善余地を特定するための1〜3日間のエンジニアリング評価、ブラックストーンの「迅速に見つけ出し修正する (Fast Find and Fix)」を導入したことで、同社は1年間の生産額あたりエネルギー消費を6%削減しました。

さらに、建物1棟あたりで、圧縮空気の1単位あたり23%のエネルギー消費量の節約を成し遂げました。

同社はまた、同社工場の屋上に5メガワットを超える太陽光発電を設置することを計画しています。



2017年に、ブラックストーンはShya Hsinを買収しました。その後、この化粧品のパッケージ会社は、5年間で25%以上のエネルギーを節約するという目標を定めました。

不動産：責任あるスチュワードシップを通じた排出量の削減

ブラックストーンの実業不動産事業は、そのESGプログラムの中核として、持続可能な管理運営を重視しています。不動産は世界の温室効果ガス排出量のかなりの部分を占めているため、不動産の投資家と運用者は非常に重要な意思決定グループであり、世界の排出量を削減するために、建物の管理運営を再考する必要があります。ブラックストーンは、これが企業や不動産物件にとって、サステナビリティへの取り組みを通じて収益性と長期的な成長を潜在的に高めることができる機会であると考えています。エネルギー、水の消費、廃棄物をより効率的に管理することによって、ポートフォリオ全体のコスト削減を実現しながら環境への影響を減らし、その結果、テナント、投資家、および当社が事業を展開する地域社会に利益をもたらすことを目指しています。

当社の持続可能な管理運営の優先事項には、以下が含まれます。

リソース管理

- ポートフォリオ全体でリソースの使用量とコストを削減する
- 低コストおよび無料の管理運営上の改善や、ポートフォリオ全体での資本集約的な改造を含む、エネルギー、水、廃棄物に関するイニシアチブを積極的に実施する

ベンチマークとパフォーマンス目標：

- サステナビリティのイニシアチブの進捗状況を追跡して報告し、改善の機会を特定し、達成可能な目標を設定する
- ポートフォリオのスケールを活用してタイムリーなインサイトを提供し、内部および外部のベンチマークを使用して進捗状況を評価する



世界最大の商業用不動産の所有者として、当社の投資先企業およびパートナーと協力して、当社の投資先、地域社会、ステークホルダーに長期にわたり継続する価値を創出するESGを推進することに責任を持って取り組んでいます⁸。

Giovanni Cutaia

不動産アセットマネジメント・グローバル責任者



Eric Duchon

ブラックストーン不動産部門
ESG責任者

Duchonは、ブラックストーン不動産部門ESG責任者です。不動産アセットマネジメント・チームの一員として、Duchonは、コーポレートESGチームおよびポートフォリオ・オペレーションズと協力して、世界中の不動産ポートフォリオ全体でESGイニシアチブを開始、管理、導入、および報告します。2020年11月にブラックストーンに入社する以前は、ラサール・インベストメント・マネジメントでマネージング・ディレクター兼サステナビリティ・グローバル責任者を務めました。

環境にやさしいリース：光熱費・水道料のデータを提供し、ESGイニシアチブにおいてブラックストーンに協力することをテナントに求めるため、新しい商業リースに環境にやさしいリース条項を義務付け、可能な限り既存の契約にも環境にやさしいリース条項を盛り込む修正を図ります。環境にやさしいリース条項では、光熱費・水道料のデータをテナントに共有してもらうこと、効率改善プロジェクトの費用分担責任、および法律で義務付けられている測定システムに焦点を合わせます¹³。

認定、ラベル、レーティング：環境にやさしい建物の認定、ラベル、レーティングを（可能な限り）取得します。これらは、業界がエネルギー、水、廃棄物の効率を高めるためのベストプラクティスを定義するのに役立ってきました。投資家を含むステークホルダーは、このデータを検証してESGプログラムを評価します。

GRESBへの積極的な参加

ブラックストーン不動産投資事業は、2015年以来この7年間にわたり、GRESB（ESGデータの収集、検証、評価、ベンチマーク設定を行う組織）の積極的な参加者であり続けてきました。ESGへのコミットメントを実証するように、参加している当社の不動産ファンドは2021年にGRESBで優れた結果を達成し、そのほとんどがGRESBの平均を上回り、前年比で実績が引き続き向上しました。

ブラックストーン・インフラストラクチャ・パートナーズは、その設定以来、GRESBのインフラストラクチャ評価に参加していますが、全体としてGRESBファンドの平均を上回ったことに加えて、インフラストラクチャの参加ポートフォリオ会社はすべて、2021年にそれぞれの同業者平均値を上回っています。

Link Logistics

2021年、米国の戦略的なラストワンマイルの好立地にある、物流不動産資産の最大のポートフォリオを運営する、当社の投資先企業のLink Logisticsは、2025年までにカーボンニュートラルな運営を達成することにコミットしています。これは、同社が掲げる「テナントがカーボンフットプリントを削減し、最終的に運用費を削減させたという点で実績のある、選ばれる不動産オーナーになる」という目標の一部です。現在、次の4つのイニシアチブがLink Logisticsの戦略の中心となっています。

- 新規の開発で100%のLEED認定を目指す
- 2025年までに、すべての照明をLEDまたは高効率の照明に切り替えることを目指す
- アメリカ合衆国環境保護庁のENERGY STARポートフォリオマネージャー・ツールで当社の建物ポートフォリオを100%ベンチマーク設定する
- 2024年までに、業務運営の100%で再生可能電力を使用する



資本投資は、経済を再構築するための材料のひとつにすぎません。強力な会社と地域社会が推進する持続的な回復には、サステナビリティ、多様な人材、優れたガバナンスも求められます。

Kathleen McCarthy

不動産部門グローバル共同責任者



当社のオフィス所在地全体での環境パフォーマンスへのソリューションについて話し合う、グローバル・コーポレート・サービスのESGチームメンバー

ブラックストーン・オフィスのエネルギー効率

当社は、グローバル・コーポレート・サービス（GCS）チーム主導の下、コーポレート・サステナビリティと当社オフィス拠点での環境面のパフォーマンスの向上に重点を置いています。

最新の効率的な照明と空調システムを設置しながら、追加の社員用アメニティと社員に快適さを提供するために、当社スペースを積極的に改装します。ニューヨークのオフィスで既存の照明をLED照明に取り換えたことで、照明のエネルギー使用量が約31%削減されました。ニューヨークの一部フロアの最近の改装には、暖房の炭素ベースの燃料への依存を減らすための、エネルギー効率の高い、水を使用する新しい空調ヒートポンプシステムが含まれています。40 Berkeley Squareにあるロンドン・オフィスでは、電力すべてを再生可能エネルギーのサプライヤーから購入しています。

すべてのパントリーと会議室で、ガラス、金属、プラスチックのリサイクルを実施し、また、すべてのコピー機で印刷の認証が求められる「セキュア印刷」システムを使用して、紙の無駄を減らしています。

31%

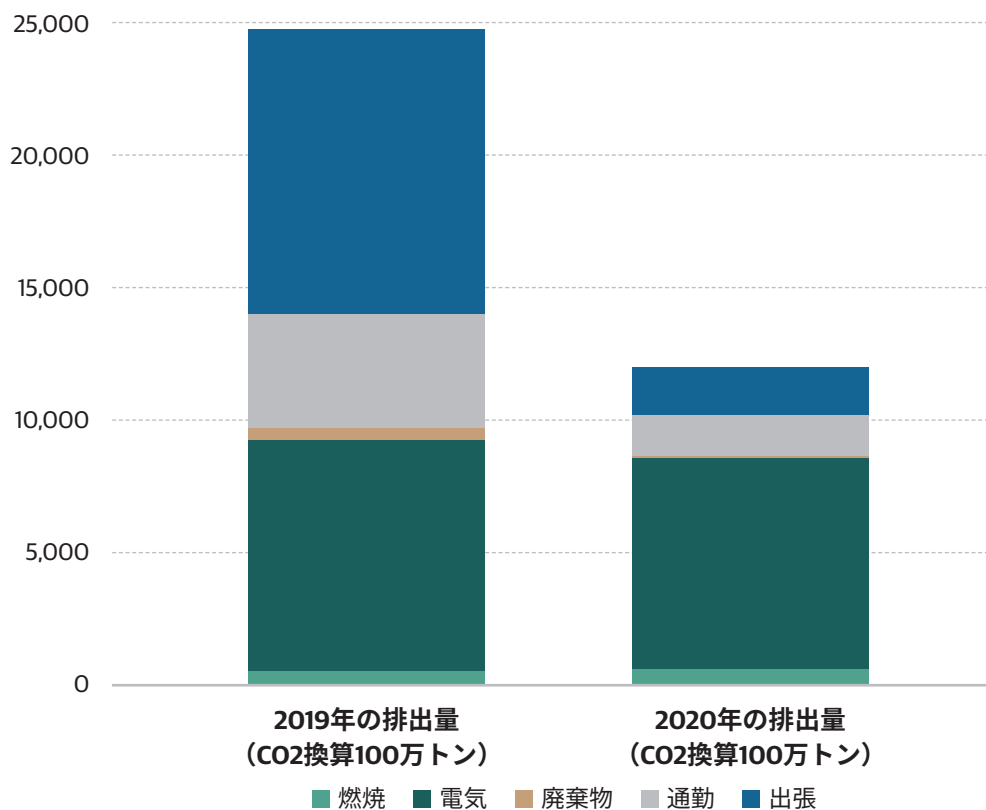
ブラックストーンのニューヨーク・オフィスで削減された照明エネルギー使用量

会社のCO2排出量

SCOPE別の排出量 (CO2換算100万トン)	2019年	2020年
Scope 1	536	646
Scope 2	8,438	7,588
Scope 3	15,890	3,731
総排出量	24,865	11,965

グローバル・コーポレート・サービスは、温室効果ガス（GHG）企業プロトコルに準拠する排出量のインベントリ（一覧表）を算定するための業務管理方法を使用しています。

- **Scope 1**には、占有オフィスおよび所有する車両で直接的な燃焼による排出量が含まれます。
- **Scope 2**には、占有オフィスやデータセンターで使用される蒸気、冷水、および電気によって生じる排出量が含まれます。
- **Scope 3**には、共用エリアの使用、廃棄物、従業員の通勤、出張に関連する間接排出量が含まれます。これらの排出量は場所に基づくものであり、サプライチェーンを通して購入したオフセットを考慮しません。



2019年と2020年の当社の排出量の温室効果ガス（GHG）インベントリ（一覧表）を作成しました。2020年の著しい排出量の削減は、新型コロナウイルス感染症が通勤と出張にもたらした影響に関連しています。来年、2019年をベースライン年として、当社の業務運営上の炭素排出に対処するための緩和戦略を開発する予定で、一部の投資に関連する排出量のインベントリ（一覧表）は、2022年に発表される予定です。

ESGにおけるテーマ投資

世界中の企業が総力を挙げてESGの取り組みを進めています。当社は、世界がこうした重要な問題において不可欠な進歩を遂げるうえで必要なソリューション、テクノロジー、およびインフラストラクチャを開発している企業への投資にフォーカスしています。ブラックストーンのポートフォリオ・イニシアチブを通じてこのような企業を特定している場合もあれば、これらの投資を利用して、当社が所有する会社の向上にこれらの投資を役立てた場合もあります。以下は、当社の主な投資の一部です。

ブラックストーン・エネルギー・パートナーズ

Therma & RE Tech：ブラックストーンは、2020年にRE TechとThermaに投資し、両社を合併して規模を拡大、当社の投資先企業のさらなる排出量削減とコスト節約の目標を支援し得るようになる以前から、何年にもわたり両社との提携を行っていました。Thermaは、顧客がエネルギー効率の高い設備を用いた業務にアップグレードしたりその交換や保守を行う際の支援に焦点を当てた、機械、電気、および制御の大手サービス会社です。Thermaのプラットフォームへの最初のアドオンであるRE Techは、同社の受賞歴のあるエネルギー効率とESGのプログラムを、顧客のために設計、管理、追跡します。

Array Technologies：2021年、ブラックストーンは、実用規模のソーラートラッカー技術と地上設置型システムの世界最大のメーカーの一社である、Array Technologiesの成長のために、5億ドルを投資することを確約しました。効率的な設置と地形に対する柔軟性のほか、高い信頼性、耐久性、性能を備えたArrayの製品は、低く均等化されたエネルギーコストを実現します。

5億ドル

実用規模の太陽光発電
技術メーカーへ投資

ブラックストーン・プライベート・エクイティ

DESOTEC：DESOTECは、廃棄物を削減し、よりきれいな水、空気、土壌へのアクセスを可能にする革新的な循環ろ過ソリューションを作成する、ヨーロッパの環境サービス会社です。2021年3月にブラックストーンによって買収され、DESOTECのが保有する約2,700台の移動式フィルターは、ヨーロッパ最多規模を誇ります。

2,700

ヨーロッパ最多の
規模を誇る移動式
フィルターの台数

Sona Comstar：Sona Comstarは、ブラックストーン、自動車の動力伝達システムソリューションの大手企業であるBLW Precision Forging、そしてブラックストーンの自動車投資先企業でグローバルな充電と始動ソリューションを扱うComstar Automotive Technologiesのパートナーシップによって、2019年に設立されました。

Sphera：ブラックストーンは、ESG関連のソフトウェア、データ、コンサルティング・サービスのプロバイダーであるSpheraを買収しました。Spheraの専門家は、世界中の組織と協力して、それらの組織がESGリスクを把握、管理、軽減する支援をしています。

ブラックストーン・リアル・エステート

StuyTown：ブラックストーン不動産は、保有資産に対して再生可能エネルギーシステムや温室効果ガス（GHG）排出量を削減するテクノロジーなどのESGソリューションに投資します。StuyTownは、マンハッタン内の80エーカーの土地にある56棟の建物に11,200軒以上のアパートを擁する、世界最大の住宅物件です。2019年、StuyTownは、私有集合住宅の屋根にソーラーパネルを設置する米国最大のプロジェクトを完了しましたが、それにより1万枚近くのソーラーパネルが設置され、設置時にはマンハッタンの太陽光発電容量が約倍増しました。StuyTownは、2007年以来、オンサイトでの温室効果ガス（GHG）排出量を約15%削減しています。また、2018年には、ニューヨークで最初にLEEDプラチナ認定を受けた私有集合住宅となりました。

約15%

集合住宅施設において削減した温室効果
ガス排出量の割合

ブラックストーン・グロース

Oatly : Oatlyは、スウェーデンの、植物由来のサステナブルフードのメーカーで、特許を取得しているオリジナルのオーツミルクやその他の商品を扱っています。ブラックストーンによる2億ドルのエクイティ投資は、同社の全般的な成長計画の資金として役立っています。

600人

初の年次サステナビリティ円卓会議に参加した各種業界のサステナビリティ専門家の人数

ISN : ISNは、サプライヤー管理ソフトウェアの外部委託業者・プロバイダーです。顧客は、ISNのプラットフォームを利用して、委託業者とサプライヤーが研修、健康と安全、サイバーセキュリティ、ESG

ファクターの主要基準を満たすように管理できます。2021年3月に開催されたISN初の年次サステナビリティ円卓会議には、さまざまな業界からサステナビリティ専門家が約600人参加しました。

Headspace Health :

Headspace Healthは、雇用主、健康保険会社、戦略的パートナーとのパートナーシップを通じて、自己主導型のケアと毎日24時間利用可能なオンデマンドのコーチング、さらにビデオを通じたセラピーや精神科のサポートを提供します。このプラットフォームの利用で得られる結果は臨床的に証明されており、ある研究では、ユーザーの70%がうつ症状が有意に改善されたと報告しています。

70%

うつ症状が有意に改善されたと報告しているプラットフォームのユーザーの割合

ブラックストーン・ライフ・サイエンス

Medtronic : Medtronicは、世界中の何百万人もの人々の痛みの緩和、健康の回復、寿命の延長を支援している医療技術・サービス・ソリューション企業です。ブラックストーン・ライフ・サイエンスは、Medtronicの数多くの糖尿病商品に投資していますが、特に糖尿病管理の負担を軽減するため、インスリンポンプとCGM（持続グルコースモニタリング）テクノロジーのパイプラインの加速化のために投資しています。

ブラックストーン・クレジット

Altus Power : Altus Powerは、全米で商業、産業、地方自治体の顧客にクリーン電力を提供する太陽光発電会社です。ブラックストーンとAltus

350 MW

投資開始以来、17州において手掛けた太陽光発電容量

は、投資開始以来17州において、350 MWを超える太陽光発電を共同で開発、買収、資金提供してきました。Altusは、ブラックストーンの投資先企業が管理する建物の屋根や施設に50 MWを超える太陽光発電を設置することで、ブラックストーンの脱炭素目標の更なる推進を支援をしています。

2.5GW以上

設置済みのエネルギー貯蔵容量

Strata Clean Energy : Strataは、実用規模の太陽光発電およびバッテリーエネルギー貯蔵システムのプロバイダーです。400名以上の従業員を擁し、2.5 GW以上の容量となる設備の設置を行ってきました。ブラックストーン

による投資は、Strataが北米各地で実用規模の太陽光発電およびバッテリーエネルギー貯蔵の資産を開発、建設、所有するための資金を供給し、当社を支援しています。

GoodLeap : GoodLeapは、住宅用太陽光発電の融資における米国のリーダーです。ブラックストーン・クレジットは、GoodLeapのプラットフォームを通じて、約13,000人の住宅所有者に対する太陽光発電システムまたはエネルギー効率向上のためのローンを取得し、これらの住居のCO2排出量を著しく低下させています。

約13,000人

太陽光発電システムへの融資を受ける予定の住宅所有者

ClearGen : ClearGenは、柔軟でスマートな資本とコンサルティングサポートを提供し、開発業者、エネルギーサービス会社、機器メーカー、公益事業などのパートナーが、クリーンで信頼性の高いエネルギーを顧客に提供するための取り組みを支援しています。ClearGenの目標は、より環境にやさしく、より収益性の高い未来を実現するために、CO2排出量を低減させる、トップクラスのエネルギー・ソリューションに資金を提供することです。ClearGenは、Schneider ElectricとHuck Capital合併事業であるGreenStruxureとのパートナーシップを通じた5億ドルを含め、さまざまなプロジェクトに6億5,000万ドル以上の資金提供を確約しています。

クリーンエネルギー・ソリューションへの投資

米国では国のレベルで再生可能エネルギーへの野心的な任務があり、また世界中の政府が積極的な炭素削減目標を設定しています。こうした目標は、再生可能な発電への需要の高まりを大きく後押ししています。輸送、建物、および産業部門における電化の増加は、米国の送電および配電ネットワークの老朽化と相まって、現代的で耐久性の高い電力網（グリッド）とバッテリー貯蔵ネットワークへのニーズを高めています。脱炭素化には、世界経済の多くのセクターにおいて多額の資本と大幅なイノベーションが求められます。

ブラックストーン・エネルギー・パートナーズ（BEP）は、ブラックストーンが広い範囲でのエネルギー転換と一致すると考える多様な投資ポートフォリオに、44億ドルを投じています。

ブラックストーン・クレジットは、再生可能エネルギーと気候変動ソリューションに80億ドル以上を投じており、そのうちの70億ドル以上は過去24か月においてなされたものです。

原油とガスのアップストリームへの投資は、公正市場価値ベースで、ブラックストーン全体のポートフォリオの2%未満です。ブラックストーンは、化石燃料の探鉱開発と生産、一般炭の採掘、また石炭火力発電所の新規建設への投資制限を設けたファンドを立ち上げる予定です。ミッドストリーム、ダウストリーム、発電設備といったエネルギー・インフラは、手頃な価格の信頼できるエネルギーへのアクセスを継続させるために、世界の多くの地域で非常に重要な資産となっています。こうしたインフラ資産への投資においては、生産効率性の改善、そして、よりクリーンなエネルギーへの転換を促進することを目指します。



ブラックストーン・クレジットは、グローバル社会の脱炭素化に必要とされる何兆ドルもの資金調達において、重要な役割を担うことを目標としています。大規模な資本とブラックストーンのESGリソースへのアクセスを提供することにより、世界的なエネルギー転換を可能にするための支援を行うと同時に、こうした構造変化を受け、長期的に安定したリターンを創出することが期待される、メガトレンドへ投資していきます。

Rob Horn

エネルギー投資共同責任者、ブラックストーン・クレジット

David Foley

グローバルヘッド、ブラックストーン・エネルギー・パートナーズ



Foleyは、エネルギー・トランジションと気候関連ソリューション・セクターにおいて、世界全土における、ブラックストーンのプライベート・エクイティ投資における統括をしています。1995年の入社以来、ブラックストーンにおけるエネルギー投資の体制を構築し、エネルギーセクターにおける、これまでに実施した全てのプライベート投資案件で重要な役割を果たしてきました。

Bilal Khan

シニア・マネージング・ディレクター、プライベート・エクイティ



Khanは、プライベート・エクイティグループのシニア・マネージング・ディレクターです。2009年の入社以来、Transmission Developers Inc.、Aypa Power、Onyx Renewables、Therma、Array Technologiesを含む、ブラックストーンの投資案件に携わってきました。

Rob Horn

エネルギー投資共同責任者、ブラックストーン・クレジット



Hornは、ブラックストーン・クレジットでのエネルギー投資共同責任者で、再生可能エネルギーと持続可能な資源の分野における当社の投資活動を指揮しています。ブラックストーンのESG運営委員会のメンバーであると同時に、ブラックストーン・クレジットにおけるストラクチャード商品、パフォーマンス・クレジット、ディストレスト・クレジット、エネルギー関連ファンドの投資委員会のメンバーでもあります。



“

当社の戦略は、よりクリーンで信頼性が高く、手頃な価格のエネルギーをアメリカへ提供するために必要となる、きわめて重要なエネルギー関連のインフラとサービスの構築に資金を提供することによって、エネルギー転換の加速化を図り、それを通じて価値創造することです。

David Foley

グローバルヘッド、ブラックストーン・エネルギー・パートナーズ

Transmission Developers Inc. :

ニューヨーク市へクリーン・エネルギーを届ける

当社が完全所有する投資先企業のTransmission Developers Inc. (TDI) は、2021年9月、ニューヨーク州エネルギー研究開発局 (NYSERDA) によって、クリーンな再生可能エネルギーをニューヨーク市へ送電する事業会社として選出されました。このプロジェクトには、10年に及ぶ開発、そしてニューヨーク州全体の地域社会、環境保護提唱者、地方自治体との密接な連携が求められ、当社が事業を展開する地域社会への、忍耐とコミットメントが反映されています。

TDIは、カナダとニューヨーク市を結ぶ339マイルに及ぶ地下送電網、Champlain Hudson Power Express (CHPE) を開発するために、Hydro-Quebecと協働していました。ニューヨーク市は、その電気消費の85%を今も化石燃料に依存していますが、このプロジェクトにより、1,250 MWのクリーン電力がニューヨーク市へ送電される予定です。CHPEによって、ニューヨーク州、特にニューヨーク市での二酸化炭素排出量は1年間に平均390万トンの削減になると考えられています。これは、ニューヨーク市の道路から乗用車の約44%を排除したと仮定した際に削減される排出量に相当します。

さらに、CHPEは建設期間中に、約1,400名の雇用を創出すると予想されており、労働組合に加入する人材を活用することを約束しています。これには、クリーン・エネルギーの分野での職業訓練を提供する、4,000万ドル規模の新たな「グリーン・エコノミー基金」が含まれます。

339マイル

送電線の距離

1,250 MW

NYCに運ばれるクリーンな電力量

約1,400

創出が見込まれる雇用の数

4,000万
ドル

新しい「グリーン・エコノミー基金」

ブラックストーンの投資先企業のTransmission Developers Inc. は、1,250 MWの再生可能エネルギーをニューヨーク市へと運ぶ、339マイルに及ぶ送電網を建設しています。

社会：

ポートフォリオにおける多様性とキャリアの流動性

ブラックストーンでは当社の資本が、経済、社会、地域社会にもたらすインパクトを認識しています。当社は、ブラックストーンとポートフォリオにおける経済的機会とキャリアの流動性の提供の向上に注力しています。

当社の活動のすべては、創業当初からブラックストーンの中核であり続けてきた最重要原則：説明責任、卓越性、誠実さ、チームワーク、起業家精神によって導かれています。これらの原則は、当社の特徴と文化を定義づけるものです。これらは、当社のプロフェッショナルとしての行動規範であり、当社のビジネスの根底にある強みです。

これらの価値観と一致する、当社のDiversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包括性）のDEI方針は、最も重要な資産である社員を中心に据えたものです。多様性へのフォーカスは、多様性に富むチームはより優れた会社を作る、という信念に根差しています。当社は、さまざまなバックグラウンド、アイデンティティ、経験を代表する多様な人材を引き付け、その能力を開発し、発展させることに取り組み、公平性と包括性の文化を維持するために、DEI原則を組み込むことにフォーカスしています。これによって、当社の人材の多様性が活かされ、投資家の方々に成果をもたらすことになる我们相信しています。

多様性を重視するという当社の信念は、当社組織のあらゆる部分に反映されています。当社のリーダーシップチームの約3分の1が多様なバックグラウンドを持ち、当社の主要ビジネス部門においては、トップ2のリーダーポジションの半数が多様なバックグラウンドを持つ人材で占められています。世界全体で女性の割合が41%に、当社の2021年新規採用のアナリストクラスでは、米国において人種的に多様な社員の割合が49%に達しています。

ブラックストーンは、すべての社員と候補者に対して、人種、肌の色、信条、宗教、性別、妊娠の状況、出身国、祖先、市民権のステータス、年齢、婚姻またはパートナーシップのステータス、性的指向、性同一性または性の表現、身体障害、遺伝的素因、退役軍人または軍人のステータス、家庭内暴力、性犯罪またはストーカー行為の犠牲者としてのステータス、適用される連邦法、州法、地域法に基づくその他の分類またはステータスに関わらず、平等な雇用機会を提供することにコミットしています。このポリシーは、雇用、配置、昇進、解雇、異動、休職、報酬、研修・訓練などの雇用条件に適用されます。

ブラックストーンでは、当社の社員と投資先企業の従業員の健康、安全、福利厚生に配慮し、ブラックストーンのファミリーと投資先企業で業務に携わる人々に貢献することが、当社のビジネスをさらに強化し、長期的な視点をもつ、より優れた投資家になれると考えます。



当社は、各地でさまざまなバックグラウンドを持つ人々が、21世紀の経済に参加するために必要なスキル構築を行える機会にアクセスを提供し、また、全国各地で人員をさらに多様化し、包括性を徹底させることにコミットしています。

Vik Sawhney

チーフ・アドミニストレーティブ・オフィサー



ブラックストーンの投資先企業Bumbleとのイベントで話す、ポートフォリオ・オペレーションズのグローバルヘッドのJennifer Morgan

ポートフォリオ全体での 人材流動化への道

当社は、ポートフォリオ全体でリーダー達が、日々重要な決定を下していることを理解しており、これらのリーダーがさまざまな人生経験や視点を持つ人々から意見を確実に得られるようにしたいと考えています。2021年、当社は、米国およびヨーロッパの投資管理下にある投資先企業の取締役会のメンバーのうち、3分の1を多様なバックグラウンドを持つ人材を登用する目標を定めました。多様なチームはより良い意思決定を行うことができ、そしてこの取組みによって、投資先企業がより強くレジリエントになることを確信しています。

当社の「キャリア・パスウェイズ」プログラムは、YearUpやCOOP Careersなどの組織とのパートナーシップを通じて、包括性の高い職場環境を醸成し、人事採用においても、候補者の対象層を拡大することにより、経済的なモビリティを促進し、投資先企業での継続的な多様性への取り組みをサポートすることを意図して設けられています。YearUpとCOOP Careersは、伝統的に多様性が高く、かつ歴史的に見て過小評価されてきたコミュニティの人材に対して、カスタマーサービス、IT、一般業務を含む、エントリーレベルおよびミドルスキルの職務に備えるための、職業訓練を提供しています。「キャリア・パスウェイズ」を通じて、多様なバックグラウンドの人材の採用、確保、登用をサポートし、未開拓の人材の成長を可能にする環境を企業内に作り出すことを目指しています。今後も毎年、これらの領域における進捗状況を追跡確認していきます。

これらのイニシアチブは、あらゆるレベルで社員をサポートし、DEIを促進することでより優れた企業になるという、明確な目標を達成する為です。



Marcus Felder

キャリア・パスウェイズ代表

「キャリア・パスウェイズ」の目標は、多様性が高く、かつ従来過小評価されてきたコミュニティの人々の雇用機会とキャリアの流動性を高めるために、根本的に取り組むことです。しかし、これは単に誰かに仕事を与えるということではありません。その人の能力開発を支援し、コーチングとトレーニングの機会を提供して、長期的なキャリアを確立できるようにすることです。



Courtney della Cava

グローバルヘッド、ポートフォリオ・タレント&リーダーシップ

取締役会レベルでの多様性は、企業とそのオーナーに長期的にみて有意義な価値を提供します。当社は野心的な目標を定めています。その確実な達成に向けたコミットメントを誇りに思います。



当社はビジネスコミュニティのリーダーとして、取締役会を含めたあらゆるレベルで、多様なバックグラウンドと視点が代表されるように努める義務があります。多様性の拡大を推進することは正しい行動であるだけでなく、すべての投資先企業をより優れたものにします。

Joe Baratta

グローバルヘッド、プライベート・エクイティ

当社のポートフォリオ全体で、 10万人の退役軍人を雇用

2021年7月、ブラックストーンは、退役軍人、退役軍人の配偶者および介護者を10万人雇用するという目標を達成しました。

2013年、当社の会長兼CEOのSteve Schwarzmanは、ホワイトハウスでファーストレディのミシェル・オバマ氏とのイベントに参加し、その時、米国の退役軍人は、退役して一般市民としての生活に移行する際に変な困難に直面しているとのファーストレディの説明を聞きました。ブラックストーンに戻ったSteveは、すぐにこの問題に対処することを決めました。

Steveは、ブラックストーンで、その後5年間にポートフォリオ全体で5万人の退役軍人を雇用することにコミットし、ブラックストーンは、ファーストレディのミシェル・オバマ氏とジル・バイデン博士が主催する「Joining Forces」に正式に加盟し、退役軍人省や他の退役軍人組織と提携してアクションプランを策定しました。

ブラックストーンの投資先企業も、この課題に率先して取り組みました。投資先企業内では、退役軍人とその家族への採用募集し、雇用を継続するために、多大な努力を払い社内リソースを開発しました。ブラックストーンは、投資先企業と退役軍人組織を結び付け、手引書、リソース、ウェビナーを提供し、毎年「退役軍人採用サミット」を主催することで、この取り組みを支援しました。その過程で、ブラックストーンでも何人もの退役軍人を採用しています。

当社が「退役軍人雇用イニシアチブ」を立ち上げたとき、退役軍人は貴重であるにもかかわらず、正當に評価されていない人材層でした。並外れた献身やコミットメント、実証済みのリーダーシップ能力を示すこうした人材への投資先企業のCEOと採用担当マネージャーからの高い評価は、当社の期待を大きく超えるものでした。

“

ほぼ10年間にわたり、ブラックストーンおよび投資先企業は模範を示し、退役軍人とその配偶者にトレーニングとスキルセットを提供し、長期にわたる有意義なキャリアを探求する上での支援をしてきました。このコミットメントと情熱は、数え切れないほどの軍人の家族の生活に有意義な変化をもたらしてきました。これらの企業と協力できて実に光栄です。

Eric Eversole

プレジデント、Hiring Our Heroes



Steve Schwarzman

会長兼CEO、共同創業者

アメリカの退役軍人の方々は、投資先企業の成功と成長を支援する特性を体現していき、勤勉で対応能力があり、協力的で信頼でき、最高水準の誠実さを備えた人材です。これまでのこのイニシアチブの成功を大変嬉しく思うとともに、今後もアメリカの退役軍人とご家族の方々をサポートして、取り組みのインパクトを広げていけることを楽しみにしています。

2017年には、投資先企業の多大な努力のおかげで、1年早く目標を達成し、今後5年間には、さらに5万人を雇用することを約束しました。当社は、10万人の退役軍人、退役軍人の配偶者および介護者を雇用するという目標を記録的な時間で達成し、10年目標に8年で到達したのです！

現在、退役軍人雇用イニシアチブは、「キャリア・パスウェイ」プログラムの一部となっており、退役軍人の皆さんに経済的機会とキャリアの流動性を提供することに引き続きフォーカスしていきます。

2021年、当社に21代アメリカ空軍参謀総長のDavid L. Goldfein大將をシニア・アドバイザーとしてお迎えできたことを大変嬉しく思っています¹²。





10万人

プログラムを通じて雇用された退役軍人、その配偶者および介護者の人数

ブラックストーン慈善財団を通じた経済機会の創出

2007年に設立されたブラックストーン慈善財団（Blackstone Charitable Foundation）は、リソースを十分に持たないコミュニティのために経済機会を創出するという、ブラックストーンの目標を支援するために尽力しています。

この財団のプログラムは、起業やイノベーションのスキル取得の機会を増やすことを目指し、このプログラムの一部には、そのシグネチャーと言える「Blackstone LaunchPad」ネットワークが含まれており、大学生が起業経験と専門知識を積み、会社経営の成功とキャリアを築くための支援が提供されます。

また、同財団は、コミュニティ・エンゲージメントの促進、災害救援提供、非営利団体に役員として奉仕する社員を斡旋・指導するプログラム、BX Connectsを通じて地域社会もサポートしています。

Blackstone LaunchPad

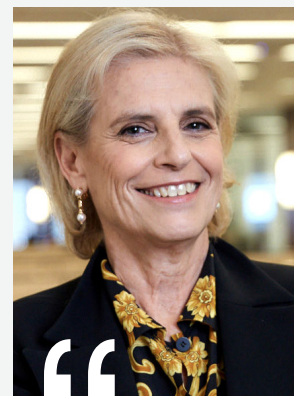
イノベーション、スキルセットの取得、若者のサポートは、ブラックストーンが豊かな経済の形成において不可欠と考えていることです。Blackstone LaunchPadは大学ベースのプログラムで、学生たちが起業家能力と起業に必要なスキルを養うことを目的としています。このプログラムでは、起業家を目指す学生があらゆる段階の創業プロセスを学ぶのと同時に、21世紀に仕事で成功するために全ての学生が身に付けるべき、重要な起業家スキルを教えています。

Blackstone LaunchPadはその発展に伴い、より多くの学生に届くことを目指し、プログラムへのアクセスを最も必要とする学生に的を絞り、起業家スキルは事業を立ち上げる人だけでなく、キャリアの機会と流動性において誰にでも有益となるというメッセージを広めています。本年初めに、同財団はプログラムをさらに4,000万ドル拡大することを発表し、学生のお大半が多様なバックグラウンドを持つ大学やリソースが十分でない大学に焦点を合わせて、プログラムを今後5年間で30校から約75校に拡大していく予定です。この一環として、Blackstone LaunchPadは、マイノリティグループに属する人々を対象とする米国最大の私設奨学金提供組織であるUNCFと提携し、当社のインパクトを最大化できる大学を特定し、学生をサポートする計画を立てて、LaunchPadのミッションを拡大しています。

2021年、Blackstone LaunchPadは、テキサス大学システム、アトランタにあるHBCU（Historically Black Colleges & Universities：歴史的黒人大学）の3校、ニューヨーク州のCUNYシステム内の9校、ネバダ州のヒスパニック系学生受入大学（Hispanic Serving Institution）の2校への拡張を開始しました。

BX Connects

BX Connectsは当社のスケール、人材、リソースを活用して、助成金を提供し、また非営利パートナーシップを形成し、社員エンゲージメントの機会を提供しています。2020年には、当社の世界中の社員の76%が、当社主催の社員エンゲージメント・アクティビティに参加し、地域社会を支援するために8,900時間を費やしました。この一環として、ブラックストーン慈善財団は、年に一度開催される「BX Gives Back Challenge」（ブラックストーン・ギブバック・チャレンジ）を主催し、何百人もの社員が競って慈善団体を「People's Choice」賞に推薦し、投票しました。



学生の生まれ、経歴、将来の計画を問わず、誰もがスタートアップの構築とキャリアスタートを順調に行えるようにするために、きわめて重要な起業家スキルを紹介するという財団のコミットメントをさらに前進させていけることを楽しみにしています。

Amy Stursberg

ブラックストーン慈善財団
エグゼクティブ・ディレクター



年に一度開催される「Blackstone Gives Back Challenge」で受賞者を祝福するJon Gray。このイベントでは当社の社員から推薦された慈善団体に助成金が提供されました。



毎年世界中の新採用者に提供される「職場での尊重」研修プログラムでは、社員に相互を尊重し合う職場環境を作るための知識を身に付けてもらいます。

当社の人材マネジメントポリシー：安全と公平性の確保

当社の文化は、我々の価値観をさらに高める方針によって支持され、再確認されています。

米国の社員ハンドブックには、包括的なハラスメント防止ポリシーが記載されており、毎年、世界中の新入社員を対象とした「職場での尊重」研修プログラムが実施されています。この研修で、社員は、多様性の促進、セクハラ防止とセクハラへの対応、お互いを尊重し合う職場環境の形成、差別と報復の防止などのトピックについて学びます。

全ての社員が、身体的障害、宗教上の義務、妊娠、出産、または妊娠もしくは出産に関連する症状や一般的な状態、家庭内暴力、性犯罪またはストーカー行為のためにサポートが必要となる場合には、勤務地のオフィスで合理的な配慮を要求することができます。状況に応じて、その他の合理的配慮が提供される場合もあります。

いかなる社員も、他の社員による法律もしくは当社の倫理基準への違反の疑いについて誠意をもって報告した場合、または疑わしい状況について当社に警告したことによって、報復または懲罰の対象となることはありません。米国の社員ハンドブックに記載されている報復禁止方針では、本方針または適用法に基づいて誠意をもって情報を報告した社員、嫌がらせや差別が関与する手続きにおいて証言もしくは支援を行った社員、または他の社員に嫌がらせや差別を報告するように奨励した社員に対して、ブラックストーンとその取締役、役員、および社員が直接的または間接的に、当該社員を解雇、降格、停職、脅迫、嫌がらせをすること、またはその他の方法で差別もしくは報復することを禁じています。



DEI（多様性、公平性、包括性）はブラックストーンの文化にとって非常に重要であるとともに、当社をより良い投資家にしてくれます。ブラックストーンは、多様性の向上に取り組んでおり、当社のポートフォリオは250社以上を誇り50万人以上を雇用しているため、大きなインパクトを与えることができます。⁵

Paige Ross

人事部門グローバル責任者



Robin Wynn

エンプロイー・リレーションズ担当
グローバル責任者

Wynnは、社員の問題について、シニア・ビジネスリーダーにコーチングと指導を提供しています。また、「職場での尊重」プログラムを管理し、当社のあらゆるイニシアチブに参加しています。2008年にブラックストーンに入社する以前は、シティ・グループで人事ビジネスパートナーを務めていました。



私は、ブラックストーンが引き続きDEI原則を職場の文化に、そしてさまざまな人材と職務機能に融合するお手伝いをさせていただけること、また、私たちが関連する各業界と地域社会で、多様性、公平性、包括性を推進するために、包括的に展開されているプラットフォームを活用していることを大変嬉しく思っています。全社的なこのコミットメントは大変素晴らしいもので、今後短期・長期的に私たちが達成できるであろうことに大きな期待を寄せています。

Devin Glenn

DEI担当グローバル責任者

Glennは、ブラックストーンが当社と投資先企業の両方を、より多様でインクルーシブな職場にするためのポリシーとイニシアチブの継続的実行に責任を負っています。Glennは、当社入社以前には、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン担当アシスタント・ディレクターとしてSkadden, Arps, Slate, Meagher & Flom法律事務所を務めていました。

コミュニティを築き多様な人材を育む

ブラックストーンは、社内およびポートフォリオと業界全体で、DEI（多様性、公平性、包括性）を総合的に推進することに取り組んでいます。DEIに取り組むことが、長期的にみて優れたパフォーマンスをもたらすことのできる、より強力な会社となることにつながると考えています。2021年、当社は初のDEIレポートに着手し、その中でDEI統合のための全社的なアプローチを概説しました。

多様な人材の採用とサポート

当社はキャリアの初期段階にいる人材のパイプラインを築くことに取り組み、応募者の幅を広げるために、大学キャンパスでの採用を拡大することに重点を置いています。

また2020年には、この取り組みにおいて、米国のハワード大学、モアハウス大学、スペルマン大学などのHBCU（Historically Black Colleges & Universities：歴史的黒人大学）をより多く含めることに重点を置きながら、採用先の大学を44校に増やしました。

2013年には、当社の次世代のシニア・リーダーシップとなりうる人材パイプラインを築くため、Future Women Leaders（将来の女性リーダー）プログラムを始動しました。年に一回ニューヨークとロンドンで開催されるこのプログラムは、セミナー、専門研修、ネットワーキング・イベント、メンターシップを通じて、女子大学生に対して早期にファイナンスを知ってもらう機会を提供しています。

このプログラムの成功を通して、当社ではさらに次のプログラムを始動しました。

- 多様なリーダー・プログラム：多様な人材へのパイプラインの構築にフォーカスしています
- 将来の女性イノベーター・プログラム、多様なイノベーター・プログラム：テクノロジー業界における女性と多様な人材へのパイプラインの構築を目的としています

採用プロセスでは、バイアスの軽減に役立つことが示されている人材マッチング・プラットフォームのPymetricsと、大学の求人掲示板であるHandshakeなどのテクノロジーをさらに活用して、さらに広範な人材にリーチできるようにしています。また、多様な人材のためにキャリアの機会を創出しているSEO、Toigo、Girls Who Investなどの組織とパートナーシップを組み、新規・既存のパートナーと積極的に取り組んでいます。

早い段階で、多様性のある若い人材をより多く引き付けて採用できるほど、これらの人材が成長し、当社の将来のリーダーになる機会も増えます。これと同様に、シニアレベルでも多様な人材を採用し、ブラックストーンでキャリアを伸ばすこれらの人材の維持にも重点を置いています。



社員のエンゲージメントと定着率向上のための親睦ネットワーク

ブラックストーンの社員親睦ネットワークは、講演シリーズ、ネットワーキング・イベント、奉仕の機会、メンタリング関係を通じて、多様な人材の採用と保持・維持、多様な人材に関する意識の向上に取り組んでいます。当社のネットワークは、お互いの目標をサポートし、イベントを共同主催し、DEIのトピックの助け合いを強調するなど、統合的な方法で運営されています。



Wesley LePatner

Core+ 最高執行責任者兼BREIT（ブラックストーン・リアル・エーステート・インカム・トラスト）担当最高執行責任者、ブラックストーン・ウイメンズ・イニシアチブ委員長



Chris James

タクティカル・オポチュニティーズ担当グローバル最高執行責任者、ブラックストーン・ダイバーズ・プロフェッショナルズ・ネットワーク委員長

ウイメンズ・イニシアチブ

ブラックストーン・ウイメンズ・イニシアチブは、女性のキャリアの開発、ビジネス間のつながりの促進、自主的なメンターシップ関係の奨励、採用戦略の形成の支援に重点を置きながら、全社的に多数のプログラムを推進しています。足元、このプログラムを投資先企業にも拡大しました。

ダイバーズ・プロフェッショナルズ・ネットワーク

ブラックストーンは、ダイバーズ・プロフェッショナルズ・ネットワーク（DPN）を発足し、ブラックストーンで占める割合が低いマイノリティグループから人材を採用し、それらのメンバーの定着を図ること、また社内で多様な背景の社員から成る包括的なコミュニティをすることに取り組んでいます。DPNは、こうしたグループが世界的につながり、当社のビジネスにおいて多様性がいかに重要かについての対話を促進するためのプラットフォームを提供しています。



Brad Bogess

クレジット部門マネージング・ディレクター、ブラックストーン・ベテランズ・ネットワーク共同委員長



Jason Santamaria

ポートフォリオ・オペレーションズ部門マネージング・ディレクター、ブラックストーン・ベテランズ・ネットワーク共同委員長



Marshall Sprung

コンプライアンス担当グローバル責任者、OUT Blackstone共同委員長



Peter Koffler

BAAMゼネラルカウンセル、OUT Blackstone共同委員長

ベテランズ・ネットワーク

ベテランズ・ネットワークは、貴重な価値と独自の視点を提供して、ブラックストーンのビジネスと文化を強化できる退役軍人とその支援者で形成されるコミュニティを拡大することを目的としています。

OUT Blackstone

OUT Blackstoneは、LGBT+の社員へのサポートネットワークを提供するとともに、有能なLGBT+の人材を採用し、定着させる支援をしています。2020年、OUT Blackstoneは、世界中のLGBT+の人々への公平性の向上に取り組むグローバル企業で構成された、最も歴史が長く最大規模の同盟である、Out Leadershipに加盟しました。

すべての社員への研修と能力開発の提供

ブラックストーンは、社員がキャリアを積み、グローバル企業に貢献でき、自身の価値を最大化することを支援するために、公式および非公式に、さまざまな学習と専門能力の開発の機会を提供しています。コンプライスと関連する研修もその一部です。

入社する各アナリストクラスには、数週間にわたる研修が提供されます。当社では、新入社員を対象に、当社の文化に慣れて成功するために、すべてのレベルで6か月毎の「文化に関するオンボーディング」プログラムを実施しています。

ブラックストーンでのキャリアの過程で、社員にはさまざまな分野での学習の機会が提供されます。これには、リーダーシップとマネジメント能力開発やコミュニケーションスキルなどが含まれます。当社は、ブラックストーンで成功するために必要な主要能力を体系化したグローバルな能力開発カリキュラムを提供します。また、Training the Street、Templar Partners、Paradigmなどの社外の組織と提携して、社員に研修プログラムを提供しています。

また、社内各レベルで新たに昇進した社員を対象に絞った、「次のレベルのリーダーシップ」と呼ばれるプログラムも用意しています。当社は常時、現在のポジション以上の役割を担う能力がある人材に目を向け、こうした人材のための機会を創出することを目指しており、マネージャーたちは定期的に連絡を取り合っており、人材と重要な役割のマッチングについて話し合っています。これらの取り組みによって人材の相互作用が引き起こされ、社員のエンゲージメントを高め、当社にとってより優れた成果がもたらされます。

社員には、DEI親睦グループを通じて、人種に関する公平性、レジリエンス、アライシップなどのトピックを扱う講演イベントも提供されています。こうした能力開発の機会は、多様な人材とバックグラウンドを持つ、あらゆるビジネスユニットの社員を集め、ネットワークと知識共有できる機会を提供しています。社員のDEIに関する研修には意識的な包括性に関するトピックが含まれており、それらの研修は、新入社員向けの「文化に関するオンボー

ディング」プログラムで取り上げられています。

社員の能力開発プロセスの中核となるのは、当社が正式に会社全体で実施している年次の360度フィードバックレビューです。このレビューでは、世界中の全社員に、自身と、頻繁に一緒に働く人（直属の上司、直属の部下、同輩）を評価するよう求めます。これらの評価によって、ブラックストーン社員は、過去1年間のパフォーマンスと、今後も成長を続ける方法について理解を深めます。評価では、職務記述書に含まれる責任を遂行し、期待に応えるプロフェッショナルとしての能力などが検討されます。全てのレビューは匿名で行われ、秘密厳守となります。提出したレビューが集計されて評価された後、各社員は上司と面談し、主な強み、伸ばすべき分野、過去1年間の達成事項、今後1年間の目標について話し合います。

当社は、年度半ばのチェックイン、年度末の360度フィードバック面談、その他年間を通じて随時、積極的に部下のパフォーマンスを管理してそのモニターと能力育成に携わるマネージャーにサポートを提供します。また、当社は、「フィードバックの提供」、「高パフォーマンス人材のコーチング」、「他者のキャリア育成」などのトピックに関する研修ワークショップを四半期毎に開催しています。社員には、積極的にフィードバックを募る方法や、自身のキャリアを伸ばす方法についての研修も提供しています。



今後のDEIスピーカーの予定について話し合う、ダイバーズ・プロフェッショナルズ・ネットワークのメンバー



人材募集と人材とのエンゲージメント

当社では、社内や社外の年次調査を通じて、定期的に当社の社員からフィードバックを収集し、社員のエンゲージメントと満足度を評価して、的を絞った対策を講じています。

当社は引き続き、金融業界における採用において人気がある企業として評価を頂いており、直近の2021年のアナリストクラスの採用サイクルでは、103の募集ポジションに対して約29,000人の応募がありました。

社員への包括的な福利厚生の提供

ブラックストーンは、包括的で有利な福利厚生をフルタイムの正社員に提供しています。これには、主・副介護者休暇、養子縁組休暇、段階的な復職、不妊治療の給付、バックアップの保育支援などがあります¹⁴。

当社は、今後も継続して従業員のニーズに応えるため、継続的に評価し、提供しているサービスを強化しています。最近、米国の社員を対象に、凍結保存を含む不妊治療の給付を強化しており、追加の家族計画給付を導入したほか、主介護者の休暇を（16週間から）20週間に延長しました。



最近のタスクフォース・ミーティングに参加する、ウイメンズ・イニシアチブのメンバー

社員の健康、安全、幸福

当社は社員ウェルビーイング・プログラムを提供しています。これには、オンライン・セラピー・プログラムや、行動上の問題、自閉症、発達障害のある子供を、また働く親や保護者をサポートするためのコーチングも用意されている教育プラットフォームへのアクセスが含まれます。

また、相続計画や代理出産契約を支援する任意加入の団体法務サービスなどの、社員が社外での生活を管理する際に支援を提供するプログラムへのアクセスも用意しています。

ブラックストーンのエクイティ・ヘルスケアでより健康的なヘルスケアを構築

2008年、ブラックストーンは、エクイティ・ヘルスケアを設立し、統合されたポートフォリオのスケールを活用して、米国のポートフォリオ会社の社員が、自身で保険を取得するよりも低い料金で、より質の高い健康保険にアクセスできるようにしました。20万人以上がこの保険に加入していますが、加入者は業界標準と比較して、受けた医療に対して3倍も高い満足度を報告しています¹⁵。また、プログラム全体で約10億ドルもの節約が達成されています¹⁶。

情報開示

重要な情報

すべての情報は、別段の記載がない限り、2021年9月30日（以下「報告日」）現在のものであり、将来変更される可能性があります。本書（添付ファイル、補足資料、および関連資料を併せて「資料」といいます）で使用されているにもかかわらず、特に定義されていない大文字（英文原書）の用語は、募集文書（本書中で定義）に記載されている意味を持ちます。資料でのブラックストーンへの言及は、Blackstone Inc.と特定のその関連会社を指します。資料でのブラックストーンへの言及には、ブラックストーンの投資先企業またはその投資での活動、イニシアチブ、もしくはその他の情報が含まれる可能性があります。ブラックストーンは、新しい情報や今後の展開等の結果として、資料中の情報を更新したり修正したりする義務を負わないものとします。

資料は情報提供のみを目的として提供されており、法務、税務、投資、会計、その他の助言として、またはブラックストーンのファンド、口座、もしくはその他の投資ビークル（それぞれを「ファンド」といいます）を用いた投資戦略における、証券または投資商品の販売の申し出、購入の申し出の勧誘として、または投資戦略への参加の勧誘として依存されるべきではなく、また、資料またはその配布の事実、契約または投資の決定の根拠を成すものではなく、契約または投資の決定に関して依存されるべきではありません。かかる申し出がなされる場合は、申し出の覚書（追加の申し出の文書と併せ、総称して「募集文書」といいます）によってのみ行われます。これには、資料に含まれていない重要な情報（かかるファンドに投資する特定のリスクなど）が含まれ、資料に記載されている情報に優先し、それ自体で資料のすべての要件を満たします。ファンドへの投資の決定は、かかるファンドへの投資の適合性と結果について独立した決定を下すために、かかるファンドの募集文書を検討し、投資家

が必要とみなす調査を実施し、投資家自身の法務、会計、税務アドバイザーに相談したうえで行う必要があります。本書に記載されている説明または用語が、投資文書の説明または用語と矛盾する、または相反する場合は、募集文書が優先するものとします。ブラックストーン、そのファンド、またはその関連会社は、本書に含まれる情報の正確性または完全性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証もしません。また、本書に含まれるいずれの内容も、ファンドまたはその他のエンティティ、取引、または投資の過去または将来における運用成果に関する約束または表明として依存されるべきではありません。

ブラックストーンの専有データおよび第三者の情報 資料で提供される特定の情報とデータは、ブラックストーン独自の知見およびデータに基づくものです。投資先企業は、現地市場における需要と供給の状況、現行市場賃貸相場と運営費、設備投資、複数の資産の評価など、それぞれが所有する市場データをブラックストーンに提供する場合があります。かかる専有の市場データは、ブラックストーンが市場の動向を評価するため、また潜在的および既存の投資のアンダーライティングにおいて使用されます。さらに、資料に含まれる特定の情報（資料の9、15、23、25、28、29、31、および34ページに記載される投資先企業に関する情報など）は、投資先企業から取得されたか、プレスリリース、レポート、ウェブサイト、記事などのブラックストーンの社外のソースから取得され、一部には本書の日付に至るまで更新されていないものも含まれます。ブラックストーンは、現在、かかる情報は本書で使用される目的のためには信頼できると考えていますが、変更される可能性があります。該当する結論に至るために、データの量、性質、

および品質が十分であるかどうかについてのブラックストーンの見解が反映されたものであり、その正確性または完全性については表明されておらず、ブラックストーン、そのファンド、またはその関連会社はいずれも、そのような情報に対する責任を負うことはなく、独立した情報の検証を行っていません。

ケーススタディ 本書で提示または参照されている一部の投資の例、ケーススタディ、および／または取引の要約は、特定の種類のすべての取引または一般的な投資を代表するものではない場合があります。また、そのようなファンドの投資戦略を採用する際にファンドによって行われた、または行われる可能性のある投資の種類を説明することを目的としています。将来、類似した投資が行われる、またはブラックストーン、もしくはその投資先企業が実施するESGイニシアチブの成功が保証されると想定すべきではありません。本書に記載される特定の投資の例は、ブラックストーンが運用する投資ビークル、および特定の他の第三者エクイティ・パートナーが所有するものである可能性があり、それらに関連して、ブラックストーンが所有する係る投資の株式は過半数に満たない場合があります。

ERISAフィデューシャリー・ディスクロージャー 前述の情報は、ERISAに基づくフィデューシャリー観点で提供されたものではなく、公平な投資アドバイスを意図したのではなく、また、そのようにみなされるべきでもありません。

ESG ブラックストーンのポートフォリオ、投資先企業、および投資（総称し「投資先企業」といいます）に関連する資料におけるESGの取り組みに関する説明は、それらの取り組みがすべて達成されたとの保証でも約束でもありません。投資先企業に関連するESGに関するイニシアチブまたは活動についての記述は、すべ

ての状況で適用されることはなく、ESGに関するイニシアチブにおける投資先企業への関連性または投資先企業における実施状況、投資先企業に関してブラックストーンが実行した投資の性質および／またはその範囲、所有権、または支配もしくは影響、および投資チーム、コーポレート・グループ、アセットマネジメント・チーム、ポートフォリオ・オペレーションズ・チーム、会社、投資、および／または事業によって、ケースバイケースで決定される他の要因を含む要因に依存します。特に、資料で説明されている特定のESGに関するイニシアチブや実務は、ストラテジック・パートナーとブラックストーンのパブリック市場での投資業務、具体的には、クレジット、ヘッジファンド・ソリューションズ (BAAM)、およびハーベストについては、適用性が低いか、または全く実行されません。ブラックストーンは、ESGファクターが長期的な価値を高め得ると考える一方で、ESGに基づく投資戦略を追求したり、特定のESGの条件または基準を満たす投資に当社の投資を制限したりすることはありません（ただし、募集文書またはその他の該当する運営文書に、そうすることが明確に示されている商品または戦略については除きます）。かかる検討事項はいずれも、リスク調整済みのリターンを最大化するというブラックストーンの目標を限定するものではありません。

将来の見通しに関する記述 資料には、1933年米国証券法（改正）の27A条、および1934年米国証券取引所法（改正）の21E条の語義の範囲における、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社の運営、税金、収益、財務実績、株式の購入、配当金などに関する、当社の現在の視点を反映しています。将来の見通しに関する記述は、「展望」、「示唆」、「考える」、「期待する」、「潜在的」、「継続的」、「～場合がある」、「～予定である」、「～のはずである」、「～を目指す」、「およそ」、「約」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「予定する」、「推定する」、「期待がある」などの文

言、またはこれらの文言の否定型、もしくは類似する文言によって特定することができます。かかる将来の見通しに関する記述は、さまざまなリスクと不確実性が伴います。したがって、実際の結果をもたらす要因と、記述によって示唆された内容とは著しく異なる結果を招く要因があり、将来そうした要因が発生する可能性もあります。こうした要因には新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響などが含まれるほか、2020年12月31日に終了した年度のフォーム10-Kのブラックストーンのアニュアルレポートの「リスク要因」のセクションに記載される要因が含まれます。かかる要因は、米国証券取引委員会 (SEC) への定期的な提出書類で随時更新される可能性があり、それらはSECのウェブサイト、www.sec.govからアクセスできます。これらはすべての要因を網羅していると解釈されるべきではなく、資料およびその他の定期的な提出書類に含まれている他の注意事項と併せて読む必要があります。将来の見通しに関する記述は、資料の日付の時点のみ述べられているものであり、当社は、新しい情報や今後の展開等の結果として、将来の見通しに関する記述を公に更新したり見直したりする義務を負わないものとしします。

画像 資料には、説明のみを目的として提供され、資産またはポートフォリオ全体、またはファンドのポートフォリオ全体を代表しない可能性がある、特定の投資の画像が含まれています。かかる画像は、実際の写真ではなく、投資のデジタル・イメージである可能性があります。

投資利益の保証なし 将来の投資家は、ファンドへの投資は投機的であり、高度なリスクを伴うことを認識する必要があります。ファンドが類似する成果を達成する、投資戦略を実行する、目的を達成する、もしくは相応な損失を回避する、または期待される利益が達成されるという保証はありません。ファンドのパフォーマンスは大きく変動する可能性があります。投資額のすべてまたは大部分の金額を失い得る余裕があり、経験のある投資

家のみが投資を検討すべきです。ファンドの手数料および費用が、その利益を相殺または超過する場合があります。ファンドにおいてブラックストーンの投資目的が達成される、またはその投資プログラムが成功するという保証はありません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

見解 表明された見解は、資料に記載された日付の時点でのみのブラックストーンの現在の見解を反映しており、その日付現在の市場環境に関するブラックストーンの見解に基づくもので、変更される可能性があります。資料に含まれる特定の情報は、一般的な市場の活動、業界もしくはセクターの動向、またはその他の全般的な経済、市場、政治の状況に関する説明であり、調査または投資の助言とみなすべきではありません。

トレンド 本書に記載されているあらゆるトレンドが継続する、または逆行しないという保証はありません。過去の出来事や動向は、将来の出来事や結果を暗示、予測、または保証するものではなく、将来の出来事や結果を示すとは限りません。

©2021BlackstoneInc. 資料を受領する、または閲覧することにより、あなたは資料がBlackstone Inc. の知的財産であり、ブラックストーンから事前に書面による許可を得ない限り、資料および資料中の情報の全部もしくは一部を、直接的または間接的に、コピー、変更、改作、公開、もしくは再配布しない、またはその他の方法で資料を商業的に使用しないことに同意するものとしします。無断複写・転載を禁じます。資料に記載されている商標および／またはロゴに対するすべての権利は、それぞれの所有者に帰属します。ブラックストーンによる資料の使用は、これらのロゴの所有者との関係、または所有者による承認を意味するものではありません。

巻末注

¹ 2020年9月現在。

² 当社は、2021年以降、当社がエネルギー使用量を制御できる世界中の新しい投資において、所有する最初の3年間で炭素排出を合計15%削減することを目指します。

³ 当社は、2021年以降、米国およびヨーロッパの管理下にある投資先企業の取締役会のメンバーの3分の1を、多様な背景を持つ人材にすることを目標にします。

⁴ 当社は、既知である場合、ジェンダー、人種、性的指向に基づいてダイバーシティ（多様性）を定義します。

⁵ 2021年6月現在。

⁶ 2021年7月現在。

⁷ 2021年10月現在。

⁸ Real Capital Analyticsによる、予想市場価値に基づく最大の所有者。政府組織と宗教組織を除く。

⁹ ブラックストーンは、エネルギー使用量と消費データを測定するために、Schneider Electric社を選びました。エネルギー使用量が大きな企業は、エネルギー消費の計測のために、Schneider Electric社に紹介されます。

¹⁰ こうした義務は、ブラックストーンがワクチンの接種状況を要求できる国のみ存在します。

¹¹ この見直しの範囲には、ポリシーと手順、情報開示、記録保持、免許、内部告発、監督、チーフ・コンプライス・オフィサーの指名、個人取引の認可に関連する利益相反、副業、贈答品と接待、政治献金、慈善寄付が含まれます。

¹² シニア・アドバイザーはブラックストーンの社員ではありません。ファンドのライフサイクルを通じて、こうしたプロフェッショナルがファンドに関係するとの保証はありません。ブラックストーンの各投資先企業での関与の程度とアドバイザーの役割は異なる場合があり、関与や役割が一切ない場合もあります。

¹³ グリーン・リース条項は、2020年第4四半期に義務付けられました。ブラックストーンが過半数を有する投資に該当されます。グリーン・リース条項は、段階的に導入されます。

¹⁴ 不妊治療の給付と保育支援の給付は、APACでは異なります。主・副介護者休暇、養子縁組休暇、段階的復職はグローバルに適用されるポリシーです。

¹⁵ 2020年7月現在。

¹⁶ 2019年現在。

Blackstone

“

ブラックストーンのESGは、投資家の皆様のために長期的価値を創出するという、重要なミッションと深く関連しています。当社は、ESGを投資プロセスと運営理念に組み込むことを目指しています。

Stephen A. Schwarzman

会長兼CEO、共同創業者

blackstone.com



表紙：ブラックストーンの投資先企業のTransmission Developers Inc. は、1,250 MWの再生可能エネルギーをニューヨーク市へと運ぶ、339マイルに及ぶ送電線を建設しています。